平成２８年度

社会福祉法人　刀圭会

事　業　報　告　書

法人本部

ケアハウス　そうび苑

デイサービスセンター　そうび苑

ヘルパーステーション　向日葵

地域密着型介護老人福祉施設　にれの木

小規模多機能型居宅介護　にれの木

デイサービスセンター　にれの木

ショートスティ　にれの木

指定居宅介護支援事業所　はなみずき

地域密着型介護老人福祉施設　ななかまど

小規模多機能型居宅介護　ななかまど

ショートスティ　ななかまど

地域密着型介護老人福祉施設　りんどう

看護小規模多機能型居宅介護　りんどう

デイサービスセンター　りんどう

ショートスティ　りんどう

訪問看護ステーション　りんどう

社会福祉法人　刀圭会
理事長　　長谷川　賢

［1］　平成２８年度　法人本部事業報告

平成２８年度法人本部の会務の運営及び主な実施事業について次のとおり報告します。

１．会務の運営

（1）　理事会の開催

第１回理事会　（通算第１００回）

１　日　　時　　平成２８年　5月２４日（火）

２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　ななかまど　１階　ミーティングルーム

３　報告事項

- 平成２７年度　第４・四半期（１～３月）法人監事内部監査の実施結果について
- 建設委員会報告について
- 苦情解決第三者委員報告について
- 評議員の辞任報告について

４　審議内容

- 評議員の欠員補充（案）について
- 平成２７年度　事業報告について
- 平成２７年度　決算報告について
- 平成２７年度　決算監事監査報告について
- ななかまどの土地の分筆について
- 土地の売却（案）について
- 北陸銀行との専用当座貸越取引開始（案）について
- 処務規定の改正（案）について
- 法人本部及び各拠点の人事（案）について
- 新規地域密着型サービス事業に係る建設業者の入札について

第2回理事会　（通算第１０１回）

１　日　　時　　平成２８年6月１３日（月）

２　場　　所　　医療法人社団刀圭会　アメニティ帯広　１階　理事長室

３　報告事項

- 介護職員の入居者に対する不適切な行為の報告について
- 平成２８年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の内示　及び　指令前着手届の提出について
- 平成２８年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の交付申請に関する申請書類の提出について
- 建設委員会報告について

４　審議内容

- 平成２８年度開設予定　地域密着型サービス事業に係わる入札等に関する件
- その他（讃岐理事より）人事考課制度の導入について

第3回理事会　（通算第１０２回）

１　日　　時　　平成２７年　7月１１日（月）

２　場　　所　　医療法人社団刀圭会　アメニティ帯広　１階　理事長室

３　報告事項
・建設委員会報告について
・平成２８年度開設予定　地域密着型サービス事業に係わる入札の結果報告について
４　審議内容
・平成２８年度開設予定　地域密着型サービス事業に係わる落札業者との契約及び地鎮祭の日程について

第4回理事会　（通算第１０３回）
１　日　　時　　平成２８年１０月２４日（月）
２　場　　所　　医療法人社団刀圭会　協立病院　１階　第一会議室
３　報告事項
・新規施設「りんどう」名称決定について
・「りんどう」建設委員会報告について
・「りんどう」新築工事に関わる経過報告について
・「りんどう」備品等の購入について
・平成２８年度　上期（４～９月）収支・事業報告について
・平成２８年度　第１四半期（４月～６月）内部監査員　及び　法人監事　内部監査の実施結果について
４　審議内容
・社会福祉法人刀圭会　理事の委嘱期間変更について
・社会福祉法人刀圭会　監事の委嘱期間変更について
・社会福祉法人刀圭会　評議員の委嘱期間変更について
・平成２８年度　第一次補正予算（案）について
・「りんどう」建設資金借入金について
・基本財産担保提供承認申請書の提出について
・「りんどう」建設費の資金計画修正（案）について
・人事考課制度の制定（案）について
・退職金手当規程の制定（案）について
・各種規程の改正及び制定　予定（案）について

第5回理事会　（通算第１０４回）
１　日　　時　　平成２８年１１月２２日（火）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　ななかまど　１階　ミーティングルーム
３　報告事項
・「りんどう」建設委員会報告について
４　審議内容
・社会福祉法人刀圭会　定款変更について
・育児休業・介護休業等に関する規程の改正（案）について
・総合災害対策規程　及び　災害対策特別委員会設置規程の制定（案）について

第6回理事会　（通算第１０５回）
１　日　　時　　平成２８年１２月１９日（月）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　ななかまど　１階　ミーティングルーム
３　報告事項

・「りんどう」建設委員会報告について
・その他（事務局より）ベトナム人介護職員の受入について

４　審議内容
・社会福祉法人刀圭会　定款変更について
・社会福祉法人刀圭会　評議員選任・解任委員会について
・社会福祉法人刀圭会　新年度からの評議員・役員（理事・監事）の定数について

第7回理事会　（通算第１０６回）
１　日　　時　　平成２９年1月１８日（水）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　そうび苑　２階　娯楽室
３　報告事項
　　無　し
４　審議内容
・法人定款の変更及び諸規定制定について
・評議員選任・解任委員会について
・社会福祉法人刀圭会　新年度からの評議員・役員（理事・監事）の定数について
・平成２８年度　第二次補正予算（案）について

第8回理事会　（通算第１０７回）
１　日　　時　　平成２９年2月２３日（木）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　そうび苑　１階　食堂ホール
３　報告事項
・評議員選任・解任委員会の開催日決定について
・「りんどう」今後のスケジュールについて
４　審議内容
・評議員選任・解任委員会に提案する次期評議員候補者の推薦（案）
・役員の報酬及び費用に関する規程（案）について
・「りんどう」土地及び建物に関わる登録免許税の非課税措置証明願提出について
・「りんどう」土地及び建物に関わる保存登記及び抵当権設定について

第9回理事会　（通算第１０８回）
１　日　　時　　平成２９年3月２７日（月）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　そうび苑　１階　食堂ホール
３　報告事項
・「りんどう」開設報告について
・「りんどう」建物の登記に伴う定款変更その他について
・新評議員の選任報告　及び　理事の辞任報告について
４　審議内容
・理事の欠員補充（案）について
・管理規程の改正（案）について
・就業規則の改正　及び　準職員就業規則の制定（案）について
・旅費規程の改正（案）について
・給与規程の改正（案）について
・平成２９年度　事業計画（案）について

・平成２９年度　資金収支予算（案）について
・平成２８年度　第三次補正予算（案）について
・役員等の退任表彰規定の制定（案）について
・その他①企業主導型保育事業について
・その他②コンプライアンス担当理事について

（２）　監事監査実施状況

第１回　平成２８年　５月１８日
・予算、会計経理、理事会、施設運営について

第２回　平成２８年　５月１８日
・平成２７年度決算監査

第３回　平成２８年　９月２日
・資産管理、会計経理、理事会、施設運営について

第４回　平成２８年１１月１８日
・会計経理、施設運営について

第５回　平成２９年　２月２１日
・定款変更、補正予算、会計経理、理事会、施設運営について

（３）　評議員会の開催

第１回評議員会　（通算第８３回）
１　日　　時　　平成２８年　５月２４日（火）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　ななかまど　１階　ミーティングルーム
３　報告事項
・平成２７年度　第４・四半期（１～３月）法人監事内部監査の実施結果について
・建設委員会報告について
・苦情解決第三者委員報告について
・評議員の辞任報告について
４　審議内容
・評議員の欠員補充（案）について
・平成２７年度　事業報告について
・平成２７年度　決算報告について
・平成２７年度　決算監事監査報告について
・ななかまどの土地の分筆について
・土地の売却（案）について
・北陸銀行との専用当座貸越取引開始（案）について
・処務規定の改正（案）について
・法人本部及び各拠点の人事（案）について
・新規地域密着型サービス事業に係る建設業者の入札について

第2回評議員会　（通算第８４回）
１　日　　時　　平成２８年１０月２４日（月）
２　場　　所　　医療法人社団刀圭会　協立病院　１階　第一会議室
３　報告事項
・新規施設「りんどう」名称決定について
・「りんどう」建設委員会報告について
・「りんどう」新築工事に関わる経過報告について
・「りんどう」備品等の購入について
・平成２８年度　上期（４～９月）収支・事業報告について
・平成２８年度　第１四半期（４月～６月）内部監査員　及び　法人監事　内部監査の実施結果について
４　審議内容
・社会福祉法人刀圭会　理事の委嘱期間変更について
・社会福祉法人刀圭会　監事の委嘱期間変更について
・社会福祉法人刀圭会　評議員の委嘱期間変更について
・平成２８年度　第一次補正予算（案）について
・「りんどう」建設資金借入金について
・基本財産担保提供承認申請書の提出について
・「りんどう」建設費の資金計画修正（案）について
・人事考課制度の制定（案）について
・退職金手当規程の制定（案）について
・各種規程の改正及び制定　予定（案）について

第3回評議員会　（通算第８５回）
１　日　　時　　平成２９年1月１８日（水）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　そうび苑　１階　食堂ホール
３　報告事項
・「りんどう」建設委員会報告について
・ベトナム人介護職員の受入について
４　審議内容
・法人定款の変更及び諸規定制定について
・評議員選任・解任委員会について
・社会福祉法人刀圭会　新年度からの評議員・役員（理事・監事）の定数について
・平成２８年度　第二次補正予算（案）について

第4回評議員会　（通算第８６回）
１　日　　時　　平成２９年3月２７日（月）
２　場　　所　　社会福祉法人刀圭会　そうび苑　１階　食堂ホール
３　報告事項
・「りんどう」開設報告について
・「りんどう」建物の登記に伴う定款変更その他について
・新評議員の選任報告　及び　理事の辞任報告について
４　審議内容

・理事の欠員補充（案）について
・管理規程の改正（案）について
・就業規則の改正　及び　準職員就業規則の制定（案）について
・旅費規程の改正（案）について
・給与規程の改正（案）について
・平成２９年度　事業計画（案）について
・平成２９年度　資金収支予算（案）について
・平成２８年度　第三次補正予算（案）について
・役員等の退任表彰規定の制定（案）について
・その他①企業主導型保育事業について
・その他②社会福祉法人刀圭会役員報酬規程について

２．法人役職員の研修会、会議等の参加状況

１、　十勝社会福祉法人経営者懇談会総会
期　日：平成２８年４月２６日
場　所：帯広市
主　催：十勝社会福祉法人経営者懇談会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

２、　社会福祉法人経営青年会　第１７回研修会
期　日：平成２８年５月１０日
場　所：東京都
主　催：全国社会福祉法人経営青年会
出席者：理事長　長谷川　賢

３、　マディソン市長夫妻来帯に係る歓迎会
期　日：平成２８年５月１１日
場　所：帯広市
主　催：帯広市
出席者：そうび苑施設長　　前川　雅志
　　ななかまど施設長　　木村　大志
　　ななかまど相談課長　荒屋敷　典光

４、　緊急セミナー　～社会福祉法改正をうけて～
期　日：平成２８年５月１６日～１７日
場　所：札幌市
主　催：北海道老人福祉施設協議会
出席者：にれの木施設長　　井田　浩司
　　ななかまど施設長　木村　大志
　　そうび苑施設長　　前川　雅志

5、　北海道温泉協会通常総会並びに温泉セミナー
期　日：平成２８年5月１９日
場　所：札幌市
主　催：北海道温泉協会
出席者：にれの木施設長　井田　浩司

6、　そのだ修光決起集会in札幌
期　日：平成２８年5月１６日
場　所：札幌市
主　催：そのだ修光講演会
出席者：本部長　　井田　浩司
　　事務局長　　木村　大志
　　事務局次長　前川　雅志

7、　北海道社会福祉法人経営青年会　第１回運営委員会
期　日：平成２８年6月１４日～１５日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉法人経営青年会
出席者：理事長　　長谷川　賢
　　副本部長　木村　大志

8、　刀圭会グループPR　各種学校挨拶回り
期　日：平成２８年6月１５日～１７日
場　所：旭川方面
出席者：副本部長　木村　大志
　　にれの木施設長　中岡　肇

9、　全道老人福祉施設研究大会
期　日：平成２８年7月4日～5日
場　所：札幌市
主　催：北海道老人福祉施設協議会
出席者：本部長　井田　浩司
　　そうび苑施設長　前川　雅志

１０、　刀圭会グループPR　各種学校挨拶回り
期　日：平成２８年7月4日～5日
場　所：札幌方面
出席者：副本部長　木村　大志
　　にれの木施設長　中岡　肇

１１、　十勝老人福祉施設協議会　定期総会
期　日：平成２８年7月7日
場　所：帯広市
主　催：十勝老人福祉施設協議会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

１２、　医療と福祉の展示会　ハートフルデザイン特別セミナー
高齢者施設におけるデザインの重要性とは
期　日：平成２８年7月１２日～１５日
場　所：東京都
主　催：（株）オリバー
出席者：（仮）ななかまどアネックス施設長　掛札　真
他１名

１３、　北海道デイサービスセンター研究議会
期　日：平成２８年7月１４日～１５日
場　所：帯広市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：本部長　井田　浩司
そうび苑施設長　前川　雅志
他2名

１４、　刀圭会グループPR　各種学校挨拶回り
期　日：平成２８年7月１４日～１５日
場　所：札幌方面
出席者：副本部長　木村　大志
にれの木施設長　中岡　肇

１５、　北海道社会福祉法人経営青年会　第2回運営委員会、第１回総会、研修会
期　日：平成２８年8月２１日～２３日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉法人経営青年会
出席者：理事長　長谷川　賢
副本部長　木村　大志
他１名

１６、　第１回福祉職場説明会「職場個別面談コーナー」
期　日：平成２８年8月２２日～２３日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：本部長　井田　浩司

１７、　雇用管理改善啓発セミナー
　期　日：平成２８年8月２４日
　場　所：札幌市
　主　催：介護労働安定センター
　出席者：本部長　井田　浩司
　　副本部長　木村　大志

１８、　人材確保のための企業の発信力採用力向上セミナー
　期　日：平成２８年9月7日
　場　所：帯広市
　主　催：北海道
　出席者：副本部長　木村　大志

１９、　地域の絆と支え合い活動十勝地区推進セミナー
　期　日：平成２８年9月１３日
　場　所：帯広市
　主　催：北海道社会福祉協議会
　出席者：そうび苑施設長　前川　雅志
　　他2名

２０、　サ高住さかい　情報交換会、交流会
　期　日：平成２８年9月２４日
　場　所：音更町
　主　催：サ高住さかい
　出席者：本部長　井田　浩司
　　他7名

２１、　道東三地区老施協研修会
　期　日：平成２８年9月２９日～３０日
　場　所：帯広市
　主　催：十勝老人福祉施設協議会
　出席者：本部長　井田　浩司
　　他2名

２２、　社会福祉法人、社会福祉施設ブロック研修会
　期　日：平成２８年9月３０日
　場　所：帯広市
　主　催：北海道社会福祉協議会
　出席者：理事長　長谷川　賢
　　他7名

２３、　第１回北海道における社会福祉法人公益活動に向けた検討会議
期　日：平成２８年１０月６日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

２４、　看護小規模多機能型居宅介護事業所見学
期　日：平成２８年１０月１１日
場　所：札幌市
出席者：りんどう施設長　掛札　真
りんどう管理者　山田　寿
他２名

２５、　医療、介護分野のロボット展
期　日：平成２８年１０月２８日
場　所：札幌市
主　催：医療、介護分野のロボット展事務局
出席者：副本部長　木村　大志
他１名

２６、　第９回北海道歯科衛生士学術大会
期　日：平成２８年１０月２９日～３０日
場　所：札幌市
主　催：（社）北海道歯科衛生士会
出席者：にれの木施設長　中岡　肇
他１名

２７、　地域福祉活動研修会
期　日：平成２８年１１月４日
場　所：帯広市
主　催：帯広市社会福祉協議会
出席者：本部長　井田　浩司

２８、　社会福祉施設長資格認定講習
期　日：平成２８年１１月４日～９日
場　所：神奈川県
主　催：全国社会福祉協議会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

２９、　地域企業説明会　道東区域事業所
期　日：平成２８年１１月7日
場　所：札幌市
主　催：北海道
出席者：事務局長　前川　雅志
りんどう施設長　掛札　真
りんどう管理者　山田　寿

３０、　雇用管理責任者講習
期　日：平成２８年１１月９日
場　所：帯広市
主　催：介護労働安定センター
出席者：本部長　　井田　浩司
副本部長　木村　大志

３１、　苦情解決システム研修会
期　日：平成２８年１１月１５日～１６日
場　所：札幌市
主　催：北海道福祉サービス運営適正化委員会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

３２、　障碍者雇用促進フェア2016
期　日：平成２８年１１月１７日
場　所：帯広市
主　催：帯広公共職業安定所
出席者：副本部長　木村　大志
りんどう施設長　掛札　真

３３、　社会福祉法改正緊急経営セミナー
期　日：平成２８年１１月２０日～２１日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：本部長　井田　浩司
副本部長　木村　大志

３４、　「介護予防・日常生活支援総合事業」事業者説明会
期　日：平成２８年１１月２２日
場　所：帯広市
主　催：帯広市
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

３５、　第2回北海道における社会福祉法人の地域公益事業検討会議
期　日：平成２８年１１月２４日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

３６、　防火管理研修会
期　日：平成２８年１２月６日
場　所：帯広市
主　催：帯広市
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

３７、　法人役員・施設長専門研修（社会福祉施設）
期　日：平成２８年１２月８日～９日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：本部長　井田　浩司
　　そうび苑施設長　前川　雅志

３８、　北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会総会・研修会
期　日：平成２８年１２月８日～１０日
場　所：仙台市
主　催：北海道社会福祉法人経営青年会
出席者：副本部長　木村　大志
　　他１名

３９、　保育所経営セミナー
期　日：平成２９年１月１２日～１４日
場　所：大阪市
主　催：独立行政法人福祉医療機構
出席者：副本部長　木村　大志
　　そうび苑施設長　前川　雅志

４０、　老人福祉施設長研究セミナー・定期総会
期　日：平成２９年１月１９日～２０日
場　所：札幌市
主　催：北海道老人福祉施設協議会
出席者：本部長　井田　浩司

４１、　第3回北海道における社会福祉法人の地域公益事業検討会議
期　日：平成２９年１月２２日～２３日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

４２、　全国老人福祉施設研究会議　地域歯科医訪問
期　日：平成２９年１月２４日～２７日
場　所：長崎市
主　催：全国老人福祉施設協議会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

４３、　社会福祉法人経営実務セミナー　北海道社会福祉法人経営者協議会第２回総会
期　日：平成２９年１月２９日～３０日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

４４、　第２回温泉発電導入促進勉強会
期　日：平成２９年２月３日
場　所：札幌市
主　催：北海道温泉協会
出席者：本部長　井田　浩司

４５、　職場で活かせるチームビルディング研修
期　日：平成２９年２月１６日～１７日
場　所：札幌市
主　催：全国社会福祉法人経営青年会
出席者：りんどう施設長　掛札　真

４６、　帯広市徘徊高齢者等SOSネットワーク連絡会議
期　日：平成２９年２月１６日
場　所：帯広市
主　催：帯広市保健福祉部高齢者福祉課
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

４７、　高齢者虐待防止に関する研修会
期　日：平成２９年２月１７日
場　所：帯広市
主　催：帯広市保健福祉部高齢者福祉課
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

４８、　第４回北海道における社会福祉法人の地域公益事業検討会議
期　日：平成２９年２月２７日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

４９、　十勝社会福祉法人経営者懇談会総会　人材交流事業報告会
期　日：平成２９年2月２８日
場　所：帯広市
主　催：十勝社会福祉法人経営者懇談会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志
他１名

５０、　北海道社会福祉法人経営青年会　経営管理講座
期　日：平成２９年3月2日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉法人経営青年会
出席者：理事長　長谷川　賢

５１、　北海道ブロック総会・講演会
期　日：平成２９年3月8日
場　所：札幌市
主　催：一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会
出席者：そうび苑施設長　前川　雅志

５２、　第5回社会福祉法人公益活動検討会議
期　日：平成２９年3月２６日～２７日
場　所：札幌市
主　催：北海道社会福祉協議会
出席者：理事長　長谷川　賢

３．寄贈状況

①　寄附金

平成２８年　４月　７日　　㈱ファルマコムどんぐり調剤薬局
代表取締役会長　黒田　宗幸　様
100,000円（社会福祉法人刀圭会の運営資金として）

平成２８年　６月２４日　　社会福祉法人刀圭会
理事長　長谷川　賢　様
2,000円（社会福祉法人刀圭会の運営資金として）

平成２８年１０月１７日　　（株）日総
代表取締役　平井　英司　様
15,000円（ななかまど収穫祭協賛金として）

②　寄附物品　なし

［2］　平成28年度　ケアハウスそうび苑事業報告

1、重点実施項目

（1）地域貢献の視点については、報友町内会を始め地域の方々に足湯・月1喫茶、講演会、音楽会等のご案内を行い、足湯は1，２５２人の方に利用して頂けた。又、月一度の喫茶では、無料でコーヒー、手作りお菓子の提供を行い、毎月楽しみに利用して下さる方もおり地域に定着しつつある。その際に施設について尋ねられたり介護・認知症に関するする相談を受けたりと、地域の方が気軽に相談できる窓口の一つとして着実に機能してきている。近隣地域の清掃活動は入居者様と共に行なうことができ、地域の一人としての自覚をもち今後も継続していきたい。

（2）財務の視点については、定員５０名を維持することが出来ている。喫茶（認知症カフェ）を通じ、ケアハウスを知ってもらい、申し込みに繋がっている。又、入居者様の紹介により入居の申込みに至った方も多数いるので、今後も入居者様のＱＯＬを高めていき、待機者を維持していきたい。

（3）利用者の視点については、個別支援計画をより活かしていくために再度検討し、入居者様のニーズに沿った計画を今後もたてていく。定期的に勉強会のお知らせを行い参加されていた方もいた。今後も継続的に地域の方にもお知らせしていく。食事の提供については、食事のみならず、箸袋や敷紙に四季を取り入れる等、行事食の提供ができ、入居者様の楽しみに繋がっている。ご家族様との交流については積極的な声掛けや、行事へのお誘いなどで、信頼関係が築けつつある。

（4）業務のプロセスの視点については、分掌の見直しを行い、効率よく、それぞれに責任を持って業務に取り組むことが出来た。

（5）学習と成長の視点では、外部研修の一環として　全国軽費老人ホーム協会の研修の参加により、個別支援計画について学ぶことが出来た。今後は他事業所の動向を学び、より良い施設作りに努めていきたい。内部研修では自施設以外、刀圭会グループ内の研修に積極的に参加し知識を得られることが出来た。

（6）人材と変革の視点については、各自専門研修の他、地域のふまねっと運動に参加することによりサポーターより学ぶことが出来た。

2、入居者の状況

（1）人数・年齢　　平成29年3月31日現在

性　別	人　数	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	8 名	92 歳	70 歳	82.1 歳
女	41 名	95 歳	77 歳	86.3 歳
合　計	49 名			84.1 歳

（2）年齢層別人数　　平成29年3月31日現在

年齢／性別	男	女	計	構成比率
60～64	0 名	0 名	0 名	0 %
65～69	0 名	0 名	0 名	0 %
70～74	2 名	0 名	2 名	4 %
75～79	1 名	3 名	4 名	8 %
80～84	1 名	12 名	13 名	27 %
85～89	2 名	16 名	18 名	37 %
90～94	2 名	8 名	10 名	20 %
95～99	0 名	2 名	2 名	4 %
100～	0 名	0 名	0 名	0 %
合　計	8 名	41 名	49 名	98 %

（3）入居期間人数　　平成29年3月31日現在

期間／性別	男	女	計	構成比率
1年未満	2 名	5 名	7 名	14 %
1 ～ 2 年	1 名	4 名	5 名	10 %
2 ～ 3 年	0 名	5 名	5 名	10 %
3 ～ 4 年	2 名	4 名	6 名	12 %
4 ～ 5 年	0 名	4 名	4 名	8 %
5 ～ 6 年	1 名	2 名	3 名	6 %
6 ～ 7 年	0 名	3 名	3 名	6 %
7 ～ 8 年	1 名	1 名	2 名	4 %
8 ～ 9 年	1 名	1 名	2 名	4 %
9 ～ 10 年	0 名	1 名	1 名	2 %
10 ～ 11 年	0 名	1 名	1 名	2 %
11年以上	0 名	10 名	10 名	20 %
合　計	8 名	41 名	49 名	98 %
平均入居期間	4年7ヶ月	7年6ヶ月	7年2ヶ月	

（4）出身地（前住所）別人数　　平成29年3月31日現在

区分	十勝管内						道内			
	帯広市	音更町	芽室町	士幌町	陸別町	幕別町	札幌市	江別市	旭川市	大阪府
男	5 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	1 名
女	32 名	2 名	0 名	1 名	1 名	2 名	1 名	1 名	1 名	0 名
合計	37 名	2 名	1 名	1 名	1 名	2 名	2 名	1 名	1 名	1 名

（5）入居・退居の状況

①年度内入居者の人数

月	27年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	28年度
男	1 名	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2 名
女	5 名	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 名
計	6 名	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4 名

※入居者の内訳

・自宅1名　・シニアマンション3名

②年度内退居者の人数

月	27年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	28年度
男	0 名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 名
女	4 名	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5 名
計	4 名	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5 名

※退居者の内訳

・協立病院1名　・サ高住1名　・GH1名　・老健1名　・自宅1名

（6）入院の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	3 名
女	4	1	1	1	4	3	3	2	1	2	3	4	29 名
計	5	1	1	1	5	4	4	2	2	3	4	5	32 名

※各月初日から末日までの累計による

入院先	
協立病院	13 名
厚生病院	2 名
北斗病院	2 名
協会病院	2 名
合計	19 名

疾患名	
右小脳梗塞	1 名
左胸乳がんOP	1 名
右大転子部骨折再OP	2 名
白内障	1 名
血尿による検査入院	1 名
喉の良性腫瘍摘出OP	1 名
検査入院	8 名
横紋筋融解症	1 名
右肋骨骨折	1 名
顎下腫瘍OP	1 名
腰椎圧迫骨折	2 名
中毒疹	1 名
	名
	名
	名
	名
	名
	名
合計	21 名

※入院期間

総日数　695日

1人平均　33日

最長　142日

最短　1日

（7）在宅サービスの利用状況　　平成29年3月31日現在

性別／種類	通所介護	訪問介護	訪問看護	介護タクシー	小規模多機能	合　計
男	0 名	1 名	0 名	0 名	1 名	0 名
女	16 名	19 名	7 名	2 名	3 名	47 名
合　計	16 名	20 名	7 名	2 名	4 名	47 名

（8）要介護・要支援認定の状況　　平成29年3月31日現在

性別／介護度	申請者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
男	2 名	2 名	0 名	0 名	0 名	0 名
女	31 名	7 名	15 名	7 名	2 名	0 名
合　計	33 名	9 名	15 名	7 名	2 名	0 名

（9）事務費（サービスの提供に要する費用）負担区分の状況　　平成29年3月31日現在

区分	対　象　収　入　額	事 務 費	男	女	計	構成比率
1	～1,500,000 円	10,000 円	4 名	20 名	24 名	49％
2	1,500,001～1,600,000 円	13,000 円	1 名	1 名	2 名	4％
3	1,600,001～1,700,000 円	16,000 円	0 名	3 名	3 名	6％
4	1,700,001～1,800,000 円	19,000 円	1 名	5 名	6 名	12％
5	1,800,001～1,900,000 円	22,000 円	0 名	3 名	3 名	6％
6	1,900,001～2,000,000 円	25,000 円	0 名	0 名	0 名	0％
7	2,000,001～2,100,000 円	30,000 円	1 名	2 名	3 名	6％
8	2,100,001～2,200,000 円	35,000 円	0 名	1 名	1 名	2％
9	2,200,001～2,300,000 円	40,000 円	0 名	1 名	1 名	2％
10	2,300,001～2,400,000 円	45,000 円	0 名	2 名	2 名	4％
11	2,400,001～2,500,000 円	50,000 円	0 名	2 名	2 名	4％
12	2,500,001～2,600,000 円	57,000 円	0 名	0 名	0 名	0％
13	2,600,001～2,700,000 円	64,000 円	0 名	0 名	0 名	0％
14	2,700,001～2,800,000 円	67,300 円	0 名	0 名	0 名	0％
15	2,800,001～2,900,000 円	67,300 円	0 名	0 名	0 名	0％
16	2,900,001～3,000,000 円	67,300 円	0 名	0 名	0 名	0％
17	3,000,001～3,100,000 円	67,300 円	1 名	0 名	1 名	2％
18	3,100,001～ 円	67,300 円	0 名	1 名	1 名	2％
合　計			8 名	41 名	49 名	98％

※1区分男1女1計2名は夫婦減免あり→事務費7,000円

3. 実施事業（行事等）

日　付	行　事　名　等	内　容　・　場　所　等	入居者参加人数
4月	平成２８年度親睦会総会		４６名
	帯広美術館観覧	篠山紀信展観覧	９名
	喫茶（２５日２６日２７日）	佐藤春美様コンサート	１６８名
5月	足湯オープン		
	花見ドライブ	帯広市内	２３名
	春の大掃除週間・点検		
	春の苑周辺環境整備		17名
	喫茶		５８名
	北明自然観賞会		１７名
6月	北明自然観賞会(６日、２８日)		31名
	喫茶		８１名
	日帰り旅行	ヌップクガーデン	29名
7月	第２４回参議院議員選挙不在者投票		名
	北明自然観賞会		21名
	北明リハビリ農園野外パーティー		33名
	喫茶		８１名
	第43回理事長杯ＰＧ大会		7名
8月	北明自然観賞会		11名
	そうび苑盆踊りゲーム大会		
	ヴァイオリン演奏		２４名
	芝田山親方とお弟子さん来苑		
	喫茶		５８名
	大道人芸、パフォーマンス		
	帯広美術館観覧	歌麿とその時代　展	１１名
9月	冷蔵庫消毒		
	喫茶		８１名
	和紙人形教室		１３名
	芋煮会＆ＰＧ大会		２１名
10月	結核検診・健康診断	協立病院	５０名
	大掃除週間～点検		
	北明自然観賞会(４日、２８日)		18名
	大規模災害訓練		
	喫茶	阿波踊り	８８名
	秋の苑周辺環境整備		１５名
11月	帯広菊祭り観覧		９名
	インフルエンザ予防接種		５０名
	第１５回そうび苑祭		
	喫茶		７５名
１２月	年忘れ会		
	喫茶	オカリナ演奏	７８名
1月	新年交礼会		
	ゆず湯実施		
	美術館観覧	グラフィックデザインの１００年	９名
	喫茶		７５名
	記念写真撮影		
	新年会		
2月	節分豆まき		
	帯広氷祭り見学		７名
	喫茶	スターバックスコーヒー、認知症講演会	８７名
3月	嗜好調査		
	ひな祭り		
	お食事会	レストラン　ＨＩＲＯ	２９名
	喫茶		７１名

※ ラジオ体操～毎日実施
クラブ活動～大正琴教室　（毎週火曜日　４名）
ＰＧ同好会　（夏季シーズン月２回　会員１２名）
麻雀同好会　（定例会毎週日曜日　１０名）
短歌同好会　（第二土曜日、　会員８名）
野菜クラブ　（夏季シーズン月２回　会員８名）

誕生会　（毎月）
健康チェック（毎月）
映画会　（毎月１回）
いきいき体操　（毎月１～2回）
ふまねっと運動　（毎月１～２回）
親睦会役員会　、入居者様と職員の懇談会（毎月１回）
冷蔵庫消毒３か月に一度
地域貢献ゴミ拾い　（５月～１０月　月１～２回）

［3］　平成２８年度デイサービスセンターそうび苑事業報告

1、重点実施項目

（1）地域貢献の視点については、６月に『ひなたぼっこ』の園児が来苑され、一緒にレクリエーションに参加し触れ合ったり、８月は大道芸、バイオリン演奏、１１月にはそうび苑祭で江陵高校吹奏楽部の方々に来ていただきました。その他、教育大の介護体験実習（４名）や学生アルバイト（２名）の受け入れや、一中生の職場体験等により触れ合う場をもち、交流を深めることができた。

（2）財務の視点については、４月の１日平均24.8名から始まり３月は２６.3名、途中２８名を超える月もあったが維持が難しく、月によるムラが大きかったと感じる。アメニティ帯広の卒業者の紹介等もあり年間平均で２６.４名と前年度を大きく上回ったが、計画の１日平均２７名には届かなかった。
収入については、当初の計画には届かなかったが修正計画は達成。昨年度に比べ利用者の増加、個別機能訓練参加者の増加等あり、収益を伸ばすことができた。

（3）利用者の視点については、利用者個々の処遇に対し、日々接する中で直接情報を得る他、アンケートの実施や送迎時にご家族からの情報提供、連絡ノートの活用等により情報収集を行い、全職員で情報共有をし、必要な情報提供を適切に行うことにより、利用者および家族からの信用を得ることができた。
通所時のレクリエーションの充実については、集団でのレクリエーションの他に利用者が楽しめるよう各個人の好みを把握し、個人またはグループ単位でのアクティビティ・ゲーム等を提供できた。
それにより、利用者が自主活動・趣味活動を自発的に行えるようになった。

（4）業務のプロセスの視点については、通所者の人数に応じて柔軟な業務の配分を実施、随時業務体制の見直しと検討を行い、効率的に業務の遂行を図ることができた。

（5）学習と成長の視点については、良質なるサービスを提供するため、介護・看護の専門職としてサービスの質の向上を目指していくために、施設内外の研修に積極的に参加して、研修報告等を行い、職員同士意見を交換してよりよい質の高いサービスが提供できるよう施設全体で取り組んでいくことができた。

（6）人材と変革の視点については、そうび苑倫理綱領を基礎とし、日々の申し送りや週１回のケース検討会議のみでなく、必要時には随時話し合うことで、意見・提案を自発的に行えるようになった。また話し合いを重ねることで、個々のニーズに対し共通の意識を持ち、全職員がチームとして機能する基となった。

2、利用者の状況

（1）通所介護事業利用者の状況　　平成２９年３月３１日現在

月	利用稼働日	利用延人数	利用実人数	1日平均利用者数	介護度別利用者数（実人数）						
					支援１	支援２	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５
4月	26	629	92	24.2	17	25	31	14	2	2	0
5月	26	628	97	24.2	17	23	37	14	1	3	0
6月	26	686	100	26.4	18	27	41	14	1	2	0
7月	27	677	101	25.1	20	29	40	13	1	2	0
8月	27	646	97	23.9	18	30	40	11	0	3	0
9月	26	647	94	24.9	17	31	40	10	0	4	0
１０月	26	655	95	25.2	20	31	38	11	0	4	0
１１月	26	717	100	27.6	18	36	38	12	0	4	0
１２月	26	701	101	27.0	15	35	40	14	0	4	0
1月	24	637	95	26.5	14	36	38	13	0	4	0
2月	24	609	95	25.4	15	35	39	13	0	3	1
3月	27	683	96	25.3	15	33	38	12	0	4	1
合計	311	7,915	1,163		204	371	460	151	5	39	2
月平均	25.9	659.6	96.9	25.5	17.0	30.9	38.3	12.6	0.4	3.3	0.2
介護度別構成比率					16.6%	30.1%	37.3%	12.3%	0.4%	3.2%	0.2%

※介護度別利用者数（実人数）は、月の途中で介護度の変更がある利用者がいるため、合計数が利用実人数と一致せず。

（A）曜日別利用者人数　　平成２９年3月３１日現在

区分		曜日別利用者人数						合計
		月	火	水	木	金	土	
男		6	4	1	6	5	1	23
女		26	26	27	23	22	27	151
計		32	30	28	29	27	28	174
要介護度別内訳	支1	4	1	5	3	2	1	16
	支2	8	10	6	10	8	10	52
	介1	14	10	13	10	13	11	71
	介2	4	8	2	5	2	5	26
	介3	0	0	0	0	0	0	0
	介4	2	0	2	1	1	1	7
	介5	0	1	0	0	1	0	2
計		32	30	28	29	27	28	174

※3月末登録者のうち複数回利用者を含む

（B）年齢データ　　平成２９年3月３１日現在

区分	利用人数	年齢別利用者人数								平均年齢
		～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	
男	17	0	1	1	3	3	5	3	1	84.1
女	86	0	0	2	4	16	27	26	11	86.7
計	103	0	1	3	7	19	32	29	12	85.4
比率％	100.0%	0.0%	1.0%	2.9%	6.8%	18.4%	31.1%	28.2%	11.7%	

（C）地区別利用者数　　平成２９年3月３１日現在

区分	北	西帯	東	柏林台	西南	南町	音更	ケア	合計
男	8	2	2	3	2	0	0	0	17
女	41	4	9	10	7	1	1	13	86
計	49	6	11	13	9	1	1	13	103
比率％	47.6%	5.8%	10.7%	12.6%	8.7%	1.0%	1.0%	12.6%	100.0%

（D）利用解除の理由と人数　　平成29年3月３１日現在

区分	男	女	計
本人死亡のため	3	3	6
施設入所（特養・老健・GH等）のため	0	10	10
他のデイサービス・デイケア等に変更のため	0	4	4
引越しのため	0	1	1
病院入院・体調不調のため	2	6	8
その他（本人の都合など）	0	4	4
計	5	28	33

（3）在宅重度身体障害者デイサービス事業利用者の状況 平成29年3月31日現在

月	利用稼働日	利用延人数	利用実人数	1日平均利用者数	新規登録者	廃止者
4月	26	16	2	0.62	0	0
5月	26	21	3	0.81	1	0
6月	26	23	4	0.88	1	0
7月	27	23	5	0.85	1	0
8月	27	26	5	0.96	0	0
9月	26	20	4	0.77	0	1
10月	26	24	4	0.92	0	0
11月	26	25	5	0.96	1	0
12月	26	25	5	0.96	0	0
1月	24	27	5	1.13	0	0
2月	24	27	5	1.13	0	0
3月	27	28	5	1.04	0	0
合計	311	285	52		4	1
月平均	25.9	23.8	4.3	0.92	0.3	0.1

（A）曜日別利用者人数 平成29年3月31日現在

区分	曜日別利用者人数						
	月	火	水	木	金	土	合計
男	0	0	0	0	0	1	1
女	1	2	0	1	1	1	6
計	1	2	0	1	1	2	7

※3月末登録者のうち複数回利用者を含む

（B）年齢データ 平成29年3月31日現在

区分	利用人数	年齢別利用者人数							平均年齢
		0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	
男	1	0	0	0	0	0	1	0	56.0
女	4	0	0	0	0	1	1	2	55.3
計	5	0	0	0	0	1	2	2	55.7
比率%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	

（C）地区別利用者数 平成29年3月31日現在

区分	西南	西北	南	幕別町	合計
男	0	1	0	0	1
女	2	0	1	1	4
計	2	1	1	1	5

（D）利用解除の理由と人数 平成29年3月31日現在

区分	男	女	計
介護保険に移行	1	0	1
計	1	0	1

３．実施事業（行事）

４月		１０月	
４月 １日 ～ ４月 ２日	フリータイム	10月 ３日 ～ 10月 ８日	スカットボール
４月 ４日 ～ ４月 ９日	音楽レクリエーション	10月 10日 ～ 10月 15日	ボウリングゲーム
４月 11日 ～ ４月 16日	輪投げゲーム	10月 17日 ～ 10月 22日	お誕生日週間・音楽レク
４月 18日 ～ ４月 23日	お誕生日週間	10月 24日 ～ 10月 29日	体重測定・フリータイム
４月 25日 ～ ４月 30日	体重測定・フリータイム		31日（菊まつり見学）
５月		１１月	
５月 ２日 ～ ５月 ７日	お花見ドライブ	10月 31日 ～ 11月 ５日	菊まつり週間
５月 ９日 ～ ５月 14日	スマートボール	11月 ７日 ～ 11月 12日	スカットボール
５月 16日 ～ ５月 21日	お誕生日週間	11月 14日 ～ 11月 19日	お誕生日週間・長靴玉入れ
５月 23日 ～ ５月 28日	体重測定・サッカーゲーム	11月 21日 ～ 11月 26日	体重測定・フリータイム
６月		１２月	
５月 30日 ～ ６月 ４日	音楽レクリエーション	11月 28日 ～ 12月 ３日	音楽レクリエーション
６月 ６日 ～ ６月 11日	玉入れゲーム	12月 ５日 ～ 12月 10日	輪投げゲーム
６月 13日 ～ ６月 18日	お誕生週間	12月 12日 ～ 12月 17日	フリータイム
６月 20日 ～ ６月 25日	体重測定・スマートボール	12月 19日 ～ 12月 24日	お誕生日、クリスマス週間
		12月 26日 ～ 12月 30日	音楽レクリエーション
７月		１月	
６月 27日 ～ ７月 ２日	輪投げゲーム	１月 ４日 ～ １月 ７日	書道
７月 ４日 ～ ７月 ９日	音楽レクリエーション	１月 ９日 ～ １月 14日	スマートボール
７月 11日 ～ ７月 16日	サッカーゲーム	１月 16日 ～ １月 21日	お誕生日週間
７月 18日 ～ ７月 23日	お誕生週間	１月 23日 ～ １月 28日	体重測定・長靴玉入れ
７月 25日 ～ ７月 30日	体重測定・短冊飾り・たこ焼き		
８月		２月	
８月 １日 ～ ８月 ６日	買い物ツアー	１月 30日 ～ ２月 ４日	豆まきホイホイ鬼退治ゲーム
８月 ８日 ～ ８月 13日	買い物ツアー・盆踊り	２月 ６日 ～ ２月 11日	音楽レクリエーション
８月 15日 ～ ８月 20日	お誕生日週間	２月 13日 ～ ２月 18日	お誕生日週間
８月 22日 ～ ８月 27日	体重測定・フリータイム	２月 20日 ～ ２月 25日	体重測定・フリータイム
９月		３月	
８月 29日 ～ ９月 ３日	音楽レクリエーション	２月 27日 ～ ３月 ４日	フリータイム
９月 ５日 ～ ９月 10日	調理レク（イモ団子）	３月 ６日 ～ ３月 11日	フリータイム
９月 12日 ～ ９月 17日	お誕生週間	３月 13日 ～ ３月 18日	音楽レクリエーション
９月 19日 ～ ９月 24日	スマートボール	３月 20日 ～ ３月 25日	お誕生日週間
９月 26日 ～ 10月 １日	体重測定・輪投げゲーム	３月 27日 ～ ４月 １日	体重測定・フリータイム

［4］ 平成 28 年度　ヘルパーステーション向日葵事業報告

1、　重点実施項目

（1）地域貢献の視点

・法人及び大谷短大生の実習生受け入れについては依頼に応じ行なってきた。
ただ、様々な体験をしてもらえばという思いはあるが、個人宅に訪問という部分で受け入れてくれる家庭が限られており、特定の家庭に負担がかかってしまう状況である。

（2）財務の視点

・最終的には収支が少しプラスになったのは幸いである。
・介護、障害共の利用者は職員数から考えると妥当であった。
・支援の利用者は音更芽室に続き帯広はH29.04 より緩和されたサービスも始まった。それに合わせてケアマネに対するアプローチの強化と、新規利用者の受け入れを考慮し対応をすすめているところである。

（3）利用者の視点

・利用者はもとより介護者との連携にも配慮を行ってきた。しかし相互の温度差、小さな行き違いが時々おこり利用者から苦情として来ることもあったが、その都度丁寧な対応を行ってきた。また利用者の望むことと、介護保険として対応が出来ることのラインをうまく理解していただけないことも度々起きている。
・介護保険の新規、障害の新規の依頼を受けたが、人員不足による対応枠がなくお断りをすることが多かった。
・痰吸引においてはここ２年経過をみてはいたが在宅では利用者の不在等から実施が不可能な状況である。再度トライするならば、研修からの再スタートとなるため時間とお金がかかってくる。
・同行援助に関しても訪問介護員の人数の関係から長時間一人のヘルパーが対応できるような体制は作れなかった。

（4）業務のプロセスの視点

・状況変化や介護保険の更新時に、利用者の現状と提案を含めたモニタリングを CM に書面として提出行っている。

（5）学習と成長の視点

・H28 年度のヘルパーステーション独自としては５回実施。
・法人との合同研修と合わせ８回の実施となった。

（6）人材の変革の視点

・事務所内で次の担い手である立場のＳ責・訪問介護員の資質の強化を心掛けている。少しずつではあるが事務所内の役割分担等は確立されてきていると感じる。しかし、どうしても受け身体質になりがちであり、それぞれの発信力を高めていくことが課題と感じる。

2、利用者の状況

（1）.年齢別・男女別　　平成29年3月31日現在登録者数

区　分	利用　人数	年齢別利用者人数							
		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	
男	35	2	1	4	5	8	7	8	
女	95	4	4	7	9	22	27	22	
計	130	6	5	11	14	30	34	30	
比　率　%	100.0%	4.6%	3.8%	8.5%	10.8%	23.1%	26.2%	23.1%	0.0%

（2）.地区別登録者数

区分	西北	西南	東	柏林台	音更町	幕別町	南町	緑ヶ丘	大空	依田	愛国	自由が丘	その他	
男	5	16	5	1	4	1	1	0	0	1	0	0	1	35
女	35	26	5	3	14	2	1	2	1	0	1	1	4	95
総数	40	42	10	4	18	3	2	2	1	1	1	1	5	130
比　率　%	30.8%	32.3%	7.7%	3.1%	13.8%	2.3%	1.5%	1.5%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	3.8%	100%

（3）.新規利用者の推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	予防	2	0	2	1	0	1	0	0	2	0	0	1	9
	介護	1	3	4	1	3	5	0	0	0	3	1	0	21
	計	3	3	6	2	3	6	0	0	2	3	1	1	30

（4）利用休止・廃止者推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	予防	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	7
	介護	0	0	0	2	3	2	7	0	1	0	1	6	22
	計	0	1	0	3	3	3	7	2	1	0	3	6	29

新規及び廃止による延べ数の増減	予防	2
	介護	-1
	計	1

（5）.利用者各月実績推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
予防	39	37	39	41	41	43	42	40	41	39	35	35	472	39.33
介護	71	72	74	73	76	74	71	71	68	71	72	71	864	72.00
合計	110	109	113	114	117	117	113	111	109	110	107	106	1336	111.33

（6）.介護・予防利用者構成比内訳

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
支援　1	17	14	15	14	14	17	16	14	12	10	8	10	161	13.42
支援　2	22	23	24	27	27	26	26	26	29	29	26	24	309	25.75
介護　1	40	41	40	37	38	40	40	39	38	38	42	38	471	39.25
介護　2	14	16	18	22	20	17	16	15	16	18	16	17	205	17.08
介護　3	2	2	2	2	4	4	4	5	4	5	5	7	46	3.83
介護　4	6	6	7	5	7	6	5	7	6	7	5	5	72	6.00
介護　5	9	7	7	7	7	7	6	5	4	3	5	5	72	6.00
合計	110	109	113	114	117	117	113	111	109	110	107	106	1336	111.33

［5］　平成２８年度　地域密着型介護老人福祉施設
にれの木　事業報告書

１．運営方針（目標）

（１）可能な限り在宅への復帰を念頭に置き、入居前の生活が連続したものとなるよう支援する。
⇒特養から在宅復帰に繋がった実績はないが、定期アセスメント時に在宅復帰の可能性について随時検討を実施。
（２）地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築。
⇒地域包括ケア会議にて密な情報交換ができており、特養からの入院など法人内でのスムーズな連携が図れている。空床利用の見通しなどが付きやすく稼働率低下を防止。
（３）刀圭会グループ（医療、社福）事業所、サテライト開設準備室と情報を共有し、協働する。
⇒りんどう開設準備室と密に連携、空き状況、受付状況を随時確認し新規申込みの際はりんどうへ紹介するなど取り組みを実施。
（４）安定的な運営。
⇒入居者の健康管理を徹底し体調不良など早期発見、早期対応を実施することで長期療養を回避。迅速な医療機関との連携を実施。

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点
・地域交流（町内会行事への参加、町内ゴミ拾い、温泉一般開放、近隣保育所等）
⇒町内会の花壇整備、ゴミ拾い、町内会夏祭りへの参加など積極的に地域へ出向いている。
⇒認知症カフェの開催、温泉一般解放、近隣保育所との交流を実施し、地域住民との交流機会を積極的に実施。
・災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）
⇒災害無

（２）財務の視点
・拠点目標の稼働率９６％を達成する
⇒平成２８年度平均目標稼働率に対し９９．０５％で達成。
・経費の見直し、更なる削減を目指す
⇒業務改善による残業時間の削減
⇒継続購入備品を価格交渉による削減実施中
・入院患者を増やさない
（３）利用者の視点
・利用者、家族との信頼関係を築く
⇒ご家族様面会人時は現場職員、ケアマネ、相談員よりご本人様の様子を積極的にお伝え信頼関係を築いている。
・満足度を向上させる
⇒各部署へご意見箱を設置し、要望があった際は随時検討と対応を実施。
・状況に応じた柔軟かつ迅速な対応をする
⇒入居者様の受診やご家族対応が必要な際は迅速な連絡と報告を実施。
・口腔マネジメントに基づき口腔機能を維持、増進させる
⇒歯科衛生士の配置で口腔マネジメントの継続実施、口腔内トラブルを未然に防いでいる。
・経口維持の推進

⇒医師と協力しミールラウンドを実施、経口維持加算取得を維持。

・機能訓練による健康の維持増進を図る
⇒看護師を中心に集団体操の実施。同グループのリハ専門職により月に１回機能評価と指導を実施。
・季節に応じた外出行事を提供する
⇒お花見ドライブ、受診に合わせた外出、野外コンサートへの参加など積極的な外出機会を企画、実施。

（４）業務のプロセスの視点

・各事業所間の連携・強化を図る
⇒特養、ショート、デイ、多機能での連携会議を実施。
・チームワークの構築（介護、看護、事務、相談、医師）
⇒職員全体会議の開催で部署、職種の垣根を越えた意思統一を図っている。
・報告、連絡、相談の徹底を図る
⇒申し送りノート、グループセッション、ワイズマンによる実施。
・業務の効率化を図る（IT活用、ペーパーレス）
⇒グループセッション、サイボウズ、ワイズマンソフトの使用で高効率連携を実施。
・感染症対策の強化をする
⇒感染発症が予測される時期に感染の研修を開催。
・利用者の情報を他職種で共有
⇒ＩＴシステムの活用により他職種情報共有を実施している。定期の担当者会議開催により情報を共有し、統一したケアを展開。
・職員のメンタルヘルスに注意する（ストレスケアの実施）
⇒定期職員面談を実施、職員のストレスを確認。

（５）学習と成長の視点

・自己研鑽（介護、看護、事務、相談に関する事で研鑽を行う）
⇒各種協会、連絡協議会へ所属し研修機会を積極的に得ている。
・研修会（外部、内部）への参加、フィードバックし実践へつなげる
⇒研修参加者は全体職員介護後に伝達研修を実施。
・コミュニケーションを積極的に図る
⇒歓迎会などを通じて親睦を深める機会を作っている。

（６）人材と変革の視点

・法人基本理念を理解し浸透させる
⇒部署会議前に法人理念を唱和し、意識をためている。
・刀圭会職員としての資質向上を図る（介護キャリア段位制度の活用）
・やりがいと誇りを持つ
⇒職員一人一人の得意分野を把握し、業務につなげる機会を作っている。
・刀圭会グループ（医療、社福）事業所との交流・連携を強化する。
⇒地域包括ケア会議には各部署所属長が積極的に参加し連携を図っている。
・人間性の豊かさを養う
⇒人としての尊厳、人権など担当者会議の中で居室担当者が考える場面を提供、認知症や病気をみるのではなく、その「人」を見るよう随時指導と助言を実施。

３．会議

① 職員全体会議（月１回）　② ケース検討会議（月１回）
③ 各委員会会議（月１回）　④ 入居優先度判定会議（年６回）
⑤ 事業所会議（月１回）

⇒計画通りに会議開催実施できている。また、会議においては事前に議事参照することを徹底し、会議時間短縮に取り組んでいる。

４．職員の研修

① 全国、全道社会福祉協議会主催による研修会
⇒ユニットリーダー研修へ１名参加
② 全国、全道、十勝老人福祉施設協議会主催による研修会
⇒十老協介護部会 演台発表会へ１名参加
③ 北海道社会福祉研修所主催による研修会
⇒施設職員スキルアップ講座（中堅職員編）へ１名参加
④ 十勝管内及び、その他の地域における社会福祉施設の視察研修会
⇒不参加
⑤ 刀圭会グループ（医療、社福）研修会
⇒「失語症講座」、「摂食嚥下障害について」、「ストレスに役立つアンガーマネジメント研修」、「「クレーム予防は毎日の接遇から」、「成年後見制度の現状と任意後見人契約」、「感染予防の手洗い」、「スキンケア研修」等の開催、参加
⑥ 伝達報告会
⇒上記研修を含め、「特定給食施設等栄養管理担当者講習会」、「リーダーになったら考える介護現場のモチベーションアップセミナー」、「在宅歯科診療支援歯科衛生士認定研修」、「高齢者虐待防止研修会」等々へ参加し施設内での伝達報告会を開催
⑦ 全国、全道老人福祉施設協議会主催による研究発表大会への参加
⇒不参加、「北海道歯科衛生士会学術大会」での演台発表

5．入居者の状況

平成29年3月31日 現在

（1）人数・年齢

性　別	人　数	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	6	96歳	73歳	83.3歳
女	23	104歳	73歳	87.2歳
合　計	29名			85.3歳

（2）年齢層別人数

年齢／性別	男	女	計	構成比率
60～64				0.0 %
65～69				0.0 %
70～74	1	3	4名	13.8 %
75～79	1	4	5名	17.2 %
80～84	2	1	3名	10.3 %
85～89	1	5	6名	20.7 %
90～	1	10	11名	37.9 %
合計	6名	23名	29名	100.0 %

（3）入居期間人数

期間／性別	男	女	計	構成比率
6ヶ月未満	2	1	3名	10.3 %
6～1年未満	1	1	2名	6.9 %
1～2年未満	2	5	7名	24.1 %
2年以上～	1	16	17名	58.6 %
合計	6名	23名	29名	100.0 %
平均入居期間	22.8 ヶ月	32.9 ヶ月	27.9 ヶ月	

（4）介護度別人数

要介護度/性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
男			2	4		6名
女		1	5	7	10	23名
合　計	0名	1名	7名	11名	10名	29名
構成比率	0.00%	3.45%	24.14%	37.93%	34.48%	平均介護度 4.03

（5）入居・退居の状況

①年度内入居者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男			1							2			3名
女	1			1			1						3名
計	1名	0名	1名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	2名	0名	0名	6名

※入居者の内訳

・自宅　5名　　・グループホーム　1名　　・老健　2名　　・医療機関　1名

②年度内退居者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男										2			2名
女		1	1			1							3名
計	0名	1名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	2名	0名	0名	5名

※退居者の内訳

・医療機関　8名

（6）待機者の状況（H29.3.31現在）

○性別　介護度別

要介護度/性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
男	2	4	13	11	3	33名
女	8	8	17	14	6	53名
合計	10名	12名	30名	25名	9名	86名

○平均介護度

男性	女性	平均
3.27	3.04	3.16

○地域別

西帯広・開西	広陽・若葉	西	川北	東	川西・大正	鉄南	南	合計
22	8	16	17	9	0	6	8	86名

○待機場所別

在宅	病院	老健	グループホーム	他施設	合計
28	10	28	13	7	86名

［6］ 平成２８年度　小規模多機能型居宅介護にれの木

事業報告書

１．運営方針（目標）

（１）地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築。
→・愛仁園包括との連携。困難事例の相談や訪問診療の依頼等。
・サービス評価の実施。運営推進委員による外部評価。
（２）同業者と綿密な連携を図る。
→・多機能連絡会への参加。
・ふらっと忠類との人材交研修会実施。
（３）刀圭会グループ（医療、社福）事業所、サテライト開設準備室と情報を共有し、協働する。
→・アメニティ帯広、居宅向日葵、はなみずきと新規受け入れに向けての連携。
・ななかまど多機能、りんどう看多機への紹介
・協立病院への利用者様の受け入れ要請、連携。
（４）安定的な運営。
→・高稼働率を維持
・適正な介護度の見直し

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点
・地域交流（町内会行事への参加、町内ゴミ拾い、温泉一般開放、近隣保育所等）
→・認知症カフェの実施。地域住民との交流
・町内花壇清掃への参加
・温泉一般開放実施。
・まつば保育所園児来設、帯広第二中学校の福祉体験学習の受け入れ
・災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）
→・災害なし
（２）財務の視点
・拠点目標の稼働率９６％を達成する
→・95.4%　　-0.6%だったが、下半期97.2%にて来年度も高稼働継続していく。
・経費の見直し、更なる削減を目指す
→・業務の改善を図り、時間外勤務の手当てを減らした。
・空床室の積極的な利用を図る
→・ケアマネだけでなく、現場スタッフの意識改革を図り、現場スタッフから利用者への泊りサービスの提案が行われるようになっている。
（３）利用者の視点
・利用者、家族との信頼関係を築く
→・家族交流会実施。
・連絡ノートの活用。
・利用者様、ご家族様の情報は職員間で細かく情報共有し、どの職員であっても対応が出来ており、信頼関係を築けている
・満足度を向上させる
→・職員全員が誠意を持って業務に当たり、利用者様やご家族の思いをとても大切にすることが出来ている。
・さらに満足度を向上させるため、職員間で積極的にミーティング等を行っている。

・状況に応じた柔軟かつ迅速な対応をする
→・ご家族の入院や、夜間の利用者様の不穏状態に対応し、緊急の泊りの受け入れを柔軟に行うことが出来ている。
・在宅生活維持に向けた家族支援（レスパイト等）を行う
→・訪問時に、利用者様だけでなくご家族の健康状態の把握にも努めている。
・いつでも相談を受けられることをご家族に周知している。
・在宅生活を維持していくために、ご家族様が心身ともに健康でいることが重要だと考え、計画書にも盛り込み実施している。
・記録物の整備（介護計画を介護記録の連動性）をする
→・計画に対する実施項目については、ケア記録に記載するようスタッフに働きかけ実施できている。

（4）業務のプロセスの視点

・各事業所間の連携・強化を図る
→・多機能の看護師が不在時は、特養やデイの看護師に応援を依頼。各事業所間の看護師同士の連携も図れている。
・利用者の急変時には事業所にかかわりなく協力体制が取れている。
・夜勤帯は特養従来との連携を図り、お互いファローすることが出来ている。
・日中帯はデイサービスと連携を図り、見守りの強化を行っている。
・特養従来の入居者のレクリエーションの参加受け入れを行っている。
・チームワークの構築（介護、看護、ケアマネ）を行う
→・常に情報共有に努め、円滑に業務を行うことが出来ている。
・夜勤者、日勤者への申し送り等も問題なく行われており、チームワークの構築が出来ている。
・報告、連絡、相談の徹底を図る
→・介護職員から、現場責任者である看護主任へ、看護主任から管理者への報告がスムーズに行えている。管理者からの指示も同様に行われている。
・業務の効率化を図る（IT活用、ペーパーレス）
→・施設全体ではＧＳでの活用が出来ており、記録等もワイズマンで管理できている。
・感染症対策を強化する
→・勉強会や研修には積極的に参加し、感染発症時にはマニュアルに沿った対応が出来ている。
・利用者の情報を他職種で共有
→・介護士、看護師、ケアマネ、管理栄養士、歯科衛生士との情報共有できている。受診や入院の際には医師への情報提供や薬剤師との連携も図れている。
・職員のメンタルヘルスに注意する（ストレスケアの実施）
→・面談や普段のかかわりを通して、ストレスケアに努めている。
・業務に関することや、業務に関わるプライベートなことでも相談できる関係が出来ている。

（5）学習と成長の視点

・自己研鑽（介護、看護、ケアマネに関する事で研鑽を行う）
→・サービス評価の際に各自で行った自己評価を元に、それぞれの足りないところや、勉強不足の部分を再認識し、意欲的に資質向上を図ることが出来ている。
・研修会（外部、内部）への参加、フィードバックし実践へつなげる
→・研修会への参加や多機能連絡会への参加を行い、技能や知識の向上に努めている。
・研修後は全体会議にて施設内の職員へのフィードバックを行っている。
・コミュニケーションを積極的に図る
→・職員同士で、細かな変化し対しても気に掛けることが出来ており、日常的にコミュニケーションが図れている。

（6）人材と変革の視点

・法人基本理念を理解し浸透させる

→・理解できていない職員もいるため、今後の課題。毎日唱和する機会を作り、周知徹底する。

・刀圭会職員としての資質向上を図る（介護キャリア段位制度の活用）

→・介護キャリア段位制度を活用し、１名の職員のレベルアップを実施。

・やりがいと誇りを持つ

→・サービス評価（自己評価）を通して、職員が皆、看護師、介護士としての誇りを持ち、やりがいを持って業務にあたっていることがくみ取れた。特に小規模多機能での業務に面白みを感じ取り組めている。

・刀圭会グループ（医療、社福）事業所との交流・連携を強化する。

→・包括ケア会議を通して、協立病院、アメニティ帯広など刀圭会グループとの情報共有、情報交換を図り、連携を強化することが出来ている。

・人間性の豊かさを養う

→・職員一人一人の得意な分野に目を向け、特性を活かせるよう配慮することで、のびのびと業務にあたることができ、豊かな人間性を形成できるよう努めている。

３．会議

①　職員全体会議（月１回）　　②　ケース検討会議（月１回）

③　各委員会会議（月１回）　　④　運営推進会議（年６回）

⑤　事業所会議（月１回）

→・①②③⑤各自勤務調整を図りながら可能な限り出席することが出来ている。

・④管理者が出席し、特養、デイサービスと合同で行っている。

４．職員の研修

①　全国、全道社会福祉協議会主催による研修会

→・施設職員スキルアップ講座に参加

②　全国、全道、十勝老人福祉施設協議会主催による研修会

→・参加できていない

③　北海道社会福祉研修所主催による研修会

→・管理者研修、計画作成担当者研修に参加

④　十勝管内及び、その他の地域における社会福祉施設の視察研修会

→・参加できていない

⑤　刀圭会グループ（医療、社福）研修会

→・事業所内で声を掛け合い、特に主任が積極的に参加を呼びかけることで毎回多数参加できている。

⑥　伝達報告会

→・研修後には復命書を作成し、全体会議の場で研修報告を行っている。

⑦　全国、全道老人福祉施設協議会主催による研究発表大会への参加

→・参加できていない

⑧　十勝小規模多機能連絡会主催による研修会

→・勤務者（遅番・夜勤）以外は全員で参加することが出来ている。

5．利用者の状況

（1）利用登録・解除の状況

①登録者の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12名
	女	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	22名
要支援2	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12名
	女	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	4	4	26名
要介護1	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12名
	女	10	11	11	11	11	10	11	10	9	9	8	8	119名
要介護2	男	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	2	3	26名
	女	5	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49名
要介護3	男	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11名
	女	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22名
要介護4	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10名
	女													0名
要介護5	男											1	1	2名
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12名
計	男	8	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	8	85名
	女	19	21	20	21	21	21	22	22	21	21	20	21	250名
計		27名	28名	27名	28名	28名	28名	29名	29名	28名	27名	27名	29名	335名

②年度内新規利用登録者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1										1	1	3名
女	1	2		1	1	1	2			1		1	10名
計	2名	2名	0名	1名	1名	1名	2名	0名	0名	1名	1名	2名	13名

③年度内登録解除者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1									1		1	3名
女		1		1	1	1		1	1	1		1	8名
計	1名	1名	0名	1名	1名	1名	0名	1名	1名	2名	0名	2名	11名

※登録解除者の内訳

医療機関　7名、グループホーム　1名、介護老人保健施設　1名、
サービス付高齢者住宅　1名、自宅　1名

（2）年齢層別人数

H29.3.31現在

年齢／性別	男	女	計	構成比率
60～69			0	0.0%
70～79	1	4	5	17.2%
80～89	5	12	17	58.6%
90～99	2	5	7	24.1%
100～			0	0.0%
合計	8	21	29	100.0%

（3）登録期間人数

H28.3.31現在

期間／性別	男	女	計	構成比率
3ヶ月未満	2	2	4	13.8%
3～6ヶ月未満			0	0.0%
6ヶ月～1年未満		5	5	17.2%
1～2年未満	2	3	5	17.2%
2～3年未満	1	6	7	24.1%
3～4年未満	1	2	3	10.3%
4年以上	2	3	5	17.2%
合計	8	21	29	100.0%

［7］ 平成２８年度　デイサービスセンター　にれの木

事業報告書

１．運営方針（目標）

（１）利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。
→利用者の通所利用を促し、運動機能の維持、向上や社会交流を図った。利用者の通所利用が家族の精神的負担や身体的負担軽減に繋がっている。

（２）地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築。
→運営推進会議による地域との連携。
近隣居宅介護支援事業所との情報交換によりスムーズな新規受け入れに繋がっている。

（３）刀圭会グループ（医療、社福）事業所、サテライト開設準備室と情報を共有し、協働する。
→アメニティ帯広からの卒業者受け入れ体制の構築やそうび苑との情報共有を実施。

（４）安定的な運営。
→高稼働率の維持。
適切な介護度の見直しの為、ケアマネジャーへの情報提供。

（５）通常通所介護から地域密着型通所介護に移行する。
→平成28年4月より地域密着型通所介護へ移行。

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点

・地域交流（町内会行事への参加、町内ゴミ拾い、温泉一般開放、近隣保育所等）
→認知症カフェの実施。地域住民との交流
町内花壇清掃への参加
温泉一般開放実施。
まつば保育所園児来設、帯広第二中学校の福祉体験学習の受け入れ

・災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）
→災害なし

（２）財務の視点

・拠点目標の稼働率９６％を達成する
→月別では達成している月もあるが、年間では９１％に留まる。定員超過に関する指導による下半期の稼働率低下が原因。

・経費の見直し、更なる削減を目指す
→各職員、節電や節水などの水光熱費の節約や、レク物品を作成するなど経費削減に取り組んだ。

・地域密着型通所介護に移行により収入増を図る
→基本報酬の増により収入増に繋がった。

（３）利用者の視点

・利用者、家族との信頼関係を築き満足度を向上させる
→家族参加型の焼肉行事を実施したりし、関係性の構築を図った。

・通所介護計画に基づいた利用者本位の介護を実施する
→利用者ごとに通所介護計画書を作成し、計画に沿ったサービス提供を実施した。
定期的に評価を行い、目標の見直しを行った。

・機能訓練指導員による健康維持・増進を図る
→日々の日課として、集団体操や歩行訓練を取り入れ機能維持・向上に取り組んだ。

・口腔マネジメントに基づき口腔機能を維持、増進させる
→衛生士と協力し、利用者の情報共有を行った。
口腔週間を月に1度設け、利用者の口腔ケアに対する意識向上を図った。
必要に応じて受診を勧めたり、利用者からの相談に対応した。
・社会的孤立感を解消する
→利用者同士が繋がりを持てるよう、席の配置などを工夫した。
レクや行事を通じて、他者とのコミュニケーションや外部との関わりを提供することが出来た。

（4）業務のプロセスの視点
・各事業所間の連携を強化する
→ショートステイと併用して利用している方の情報共有や、多機能移行者への情報提供を積極的に実施した。
・チームワークの構築（介護、看護、相談）
→職員間の関係性を構築するため、3か月に1回程度の食事会を実施。
業務中も、常に情報共有するよう努めた。
・報告、連絡、相談の徹底を図る
→介護職員、看護職員からリーダーまたは相談員へ報連相を徹底して行っている。
・業務の効率化を図る（IT活用、ペーパーレス）
→随時業務改善を行い、記録物の簡略化や連絡ノートの見直しを実施した。
・感染症対策を強化する
→研修や勉強会に参加し、感染症に対する基礎知識を再確認した。
吐物処理なども、マニュアル通り対応できている。
・職員のメンタルヘルスに注意する（ストレスケアの実施）
→定期面談のほか、必要に応じて面談を実施し、ストレスケアに努めている。
職員から主任へ相談しやすい環境づくりに努めている。

（5）学習と成長の視点
・自己研鑽（介護、看護、相談に関する事で研鑽を行う）
→法人内研修や外部研修への積極的な参加を促している。
・研修会（外部、内部）への参加、フィードバックし実践へつなげる
→研修参加後、全体会議での研修報告や随時フロアにて研修について情報共有を行っている。
・コミュニケーションを積極的に図る
→職員同士で体調の確認を行ったり、気遣いをすることが出来ている。

（6）人材と変革の視点
・法人基本理念を理解し浸透させる
→毎朝朝礼時に、法人理念及び施設理念の唱和を行い理念の理解に努めている。
・刀圭会職員としての資質向上を図る（介護キャリア段位制度の活用）
→介護キャリア段位制度を活用し、レベル4で認定。
・やりがいと誇りを持つ
→職員の得意分野を把握し、レクなどで活躍している。
・刀圭会グループ（医療、社福）事業所との交流・連携を強化する。
→そうび苑との情報共有や、事業所間会議を行い双方のサービス向上に努めた。
・医療法人との連携を強化する
→アメニティ帯広からの卒業者受け入れ先として体制を整えた。
・人間性の豊かさを養う
→外部の同職種者との関わりを研修などを通して持ち、さまざまな考え方やサービスの提供についてなど考える機会を促した。広い視野を持つことを常に伝え、1つの物事に対して、色々な考察ができるよう職員全体で介護などを通じて取り組んだ。

３．会議

① 職員全体会議（月１回）　② ケース検討会議（月１回）
③ 各委員会会議（月１回）　④ 事業所会議（月１回）
→①②③④については、各職員勤務調整を行い出席することが出来ている。

４．職員の研修

① 全国、全道社会福祉協議会主催による研修会
→参加できていない。
② 全国、全道、十勝老人福祉施設協議会主催による研修会
→日常生活支援事業に関する研修、通所介護計画書に関する研修に参加。
③ 北海道社会福祉研修所主催による研修会
→参加できていない。
④ 十勝管内及び、その他の地域における社会福祉施設の視察研修会
→参加できていない。
⑤ 刀圭会グループ（医療、社福）研修会
→職員へ参加を促し、積極的に参加出来ている。
⑥ 伝達報告会
→・研修後には復命書を作成し、全体会議の場で研修報告を行っている。
⑦ 全国、全道老人福祉施設協議会主催による研究発表大会への参加
→参加できていない。
⑧ 十老協デイサービス部会の研修会
→第2回、第3回の研修会参加

5．利用者の状況

平成29年3月31日 現在

（1）人数・年齢

性　別	人　数	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	13名	96歳	74歳	85.4歳
女	44名	95歳	67歳	87.5歳
合　計	57名			86.5歳

（2）年齢層別人数

年齢／性別	男	女	計	構成比率
60～64	0	0	0名	0 %
65～69	0	1	1名	2 %
70～74	1	2	3名	5 %
75～79	2	5	7名	12 %
80～84	3	11	14名	25 %
85～89	4	13	17名	30 %
90～99	3	12	15名	26 %
100～	0	0	0名	0 %
合計	13名	44名	57名	100 %

（3）介護度別人数

要介護度/性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
男	2名	6名	1名	2名	0名	11名
女	19名	8名	5名	1名	1名	34名
合　計	21名	14名	6名	3名	1名	45名

要介護度/性別	要支援1	要支援2	合　計
男	2名	0名	2名
女	3名	7名	10名
合　計	5名	7名	12名

要介護認定期限切れ（休止者）	
男	0名
女	2名
合計	2名

（4）利用登録の状況

①年度内新規利用者の登録人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	6名
女	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4名
計	2名	1名	1名	3名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	10名

②年度内利用者の登録解除人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	2	8名
女	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	10	13名
計	0名	1名	2名	0名	1名	0名	1名	0名	2名	0名	2名	12名	21名

※登録解除の内訳

・死亡2名　・医療機関2名　・施設入所3名　・他事業所13名　・非該当0名　・転居1名

6. 実施事業（行事等）　　特養（ｼｮｰﾄ）、デイ、多機能の行事

日　付	行事名・場所	内　容　等	事業所
4 月 23 日	ボランティアの慰問	佐藤　春美　オールスターズ様による、サックスやギターの演奏	全事業所
6 月 5 日	ボランティアの慰問	南京玉すだれや踊りの披露	全事業所
6 月 21 日	保育園児来設	ひなたぼっこ保育園の園児達が、利用者様のレクリエーションに参加	全事業所
8 月 28 日	にれの木夏祭り	利用者や家族、地域住民が参加し縁日や屋台、余興や盆踊りを楽しむ。	全事業所
8 月 27 日	ヴァイオリンデュオコンサート	刀圭会、藤城幹事理事とご友人によるヴァイオリン演奏	全事業所
9 月 1 日	まつば保育所の園児来設	まつば保育所の園児達が、お遊戯を披露	全事業所
9 月 19 日	にれの木敬老会	慰問や節目の方をお祝いする。慰問～ＫＢＣ一輪車クラブ・鹿追ひょっとこ会	全事業所
11 月 11 日	ボランティアの慰問	ゴールデンスターズによるバンド演奏、中山民族舞踊の踊り	全事業所
11 月 14 日 ～ 11 月 16 日	福祉体験学習	帯広第二中学校の２年生が施設を訪問。レクリエーションの参加や利用者様との	全事業所
12 月 24 日	にれの木クリスマス会	職員がサンタクロースやトナカイの衣装で、利用者にプレゼントを配る。	全事業所
1 月 19 日	にれの木新年交礼会	職員による二人羽織りや佐藤春美オールスターズ様による演奏	全事業所
2 月 3 日	にれの木節分	職員が鬼の衣装で各事業所を回り、利用者から豆（新聞作成）をぶつけてもら	全事業所
6 月 22 日 ～	外出レク	３名のお誕生日会で柳月スイートピアガーデンへ。好きなものを注文しお祝い	特養従来
7 月 10 日	つくし町内会夏祭り	町内会の夏祭りに入居者様と職員が参加	特養・ショート
8 月 12 日	中札内花咲くコンサート	中札内六花の森特設ステージでの、森山良子さん、夏川りみさんのコンサート見	特養
12 月 11 日	ユニット忘年会	ユニット入居者様、ご家族様、職員での忘年会	特養ユニット
2 月 24 日	お汁粉レク	利用者様に手伝っていただき、豆腐と上新粉で小さい団子を作りお汁粉に入れ	特養従来
5 月 2 日 ～ 5 月 7 日	お花見ドライブ	芽室公園の桜見物。公園内の桜並木を見ながらの散歩をおこなう。	デイサービス
7 月 24 日	家族交流会	利用者様、ご家族様と休日に施設前で焼肉を行い交流を深める	デイサービス
9 月 5 日 ～ 9 月 17 日	スイートピアガーデン見学	スイートピアガーデンの見学、喫茶コーナーでの飲食	デイサービス
5 月 16 日 ～ 5 月 20 日	外食レク	回転寿司羽衣亭へ外食実施	多機能
8 月 4 日 ～ 8 月 6 日	七夕祭り（おひひろ広小路）	七夕祭りを見学し、柳月本店でお買い物を楽しむ	多機能
11 月 27 日	家族交流会	利用者様、ご家族様とビンゴゲームや手品ショー、会食、ＤＶＤ鑑賞	多機能
2 月 21 日 ～ 2 月 24 日	お弁当レク	事前に好きなお弁当を選んでいただき、施設まで配達してもらう。	多機能

毎月１回　各事業所ごとのお誕生会

毎月（10月より）　地域住民に温泉開放（毎週日曜日）

毎月1回　町内会の整地清掃（サルビア花壇整理含む）

毎月（１２月より）　認知症カフェ「えるむ」

天気の良い日
全事業所　北明リハビリ農園へドライブレク

年２回　避難訓練

［8］ 平成２８年度　ショートスティ　にれの木

事業報告書

１．運営方針（目標）

（１）地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築。
⇒地域包括ケア会議に参加し、他事業所との情報交換を行っている。
近隣の居宅介護支援事業所へ随時空床案内を配布し、稼働率の向上に努めている。
（２）刀圭会グループ（医療、社福）事業所、サテライト開設準備室と情報を共有し、協働する。
⇒りんどう開設準備室と密に連携、空き状況、受付状況を随時確認し新規申込みの際はりんどうへ紹介するなど取り組みを実施。
（３）安定的な運営。
⇒ロングショートの確保や定期利用者の増加、１人当たりの利用日数の増加により安定した運営に繋がっている。

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点
・地域交流（町内会行事への参加、町内ゴミ拾い、温泉一般開放、近隣保育所等）
⇒町内会の花壇整備、ゴミ拾い、町内会夏祭りへの参加など積極的に地域へ出向いている。
⇒認知症カフェの開催、温泉一般解放、近隣保育所との交流を実施し、地域住民との交流機会を積極的に実施。
・災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）
⇒災害無
（２）財務の視点
・拠点目標の稼働率９６％を達成する
⇒平成28年度平均稼働率７５．１％と目標達成せず。
空きがある場合は、居宅介護支援事業所への空床案内を適宜配布している。
・緊急利用を受け入れる
⇒緊急的な利用も現場と調整し、積極的に受け入れ姿勢を行っている。
・空床型を積極的に活用する
（ベットコントロール、居宅介護支援事業所・医療機関への情報提供、連絡調整）
⇒特養の空床状況を確認し、受け入れを積極的に行っている。
・経費の見直し、更なる削減を目指す
⇒業務改善による残業時間の削減
⇒継続購入備品を価格交渉による削減実施中
（３）利用者の視点
・利用者、家族との信頼関係を築き満足度を向上させる
⇒サービス担当者会議にて、利用者及び本人の意向や他サービスとの連携を図り、信頼関係の構築、満足度向上に努めている。
・その人の生活状況に応じた柔軟なサービス提供かつ迅速な対応をする
⇒利用者と家族のライフスタイルに合わせ、入退所時間を可能な限り柔軟に対応している。
空き状況に合わせ、延長利用などを提案し家族の介護負担軽減を図っている。
・医療依存度の高い利用者を受け入れる
⇒設備の関係上、医療行為を要する方は制限されるが、インシュリンなどできる限りの受け入れは行っている。
・在宅生活維持に向けた家族支援（レスパイト等）を行う
⇒必要に応じて、在宅生活で必要となる情報を家族と共有し、トロミの提案などを行って

いる。

・短期入所生活介護計画の作成をする
⇒ケアマネジャーの計画書を基に、介護計画書を作成。家族に説明・同意・交付を行っている。

（４）業務のプロセスの視点
・各事業所間の連携・強化を図る
⇒特養、ショート、デイ、多機能での連携会議を実施。
・チームワークの構築（介護、看護、事務、相談、医師）
⇒職員全体会議の開催で部署、職種の垣根を越えた意思統一を図っている。
・報告、連絡、相談の徹底を図る
⇒申し送りノート、グループセッション、ワイズマンによる実施。
・業務の効率化を図る（IT活用、ペーパーレス）
⇒グループセッション、サイボウズ、ワイズマンソフトの使用で高効率連携を実施。
・感染症対策の強化をする
⇒感染発症が予測される時期に感染の研修を開催。
・利用者の情報を他職種で共有
⇒ＩＴシステムの活用により他職種情報共有を実施している。定期の担当者会議開催により情報を共有し、統一したケアを展開。
・職員のメンタルヘルスに注意する（ストレスケアの実施）
⇒定期職員面談を実施、職員のストレスを確認。

（５）学習と成長の視点
・自己研鑽（介護、看護、事務、相談に関する事で研鑽を行う）
⇒各種協会、連絡協議会へ所属し研修機会を積極的に得ている。
・研修会（外部、内部）への参加、フィードバックし実践へつなげる
⇒研修参加者は全体職員介護後に伝達研修を実施。
・コミュニケーションを積極的に図る
⇒歓迎会などを通じて親睦を深める機会を作っている。

（６）人材と変革の視点
・法人基本理念を理解し浸透させる
⇒部署会議前に法人理念を唱和し、意識をためている。
・刀圭会職員としての資質向上を図る（介護キャリア段位制度の活用）
・やりがいと誇りを持つ
⇒職員一人一人の得意分野を把握し、業務につなげる機会を作っている。
・刀圭会グループ（医療、社福）事業所との交流・連携を強化する。
⇒地域包括ケア会議には各部署所属長が積極的に参加し連携を図っている。
・医療法人との連携を強化する
⇒アメニティ帯広からのロングショートの受け入れや、利用者の情報共有を行っている。
・人間性の豊かさを養う
⇒人としての尊厳、人権など担当者会議の中で居室担当者が考える場面を提供、認知症や病気をみるのではなく、その「人」を見るよう随時指導と助言を実施。

３．会議

①　職員全体会議（月１回）　　②　ケース検討会議（月１回）
③　各委員会会議（月１回）　　④　事業所会議（月１回）

⇒計画通りに会議開催実施できている。また、会議においては事前に議事参照することを徹底し、会議時間短縮に取り組んでいる。

４．職員の研修

① 全国、全道社会福祉協議会主催による研修会
⇒ユニットリーダー研修へ１名参加
② 全国、全道、十勝老人福祉施設協議会主催による研修会
⇒十老協介護部会 演台発表会へ１名参加
③ 北海道社会福祉研修所主催による研修会
⇒施設職員スキルアップ講座（中堅職員編）へ１名参加
④ 十勝管内及び、その他の地域における社会福祉施設の視察研修会
⇒不参加
⑤ 刀圭会グループ（医療、社福）研修会
⇒「失語症講座」、「摂食嚥下障害について」、「ストレスに役立つアンガーマネジメント研修」、「「クレーム予防は毎日の接遇から」、「成年後見制度の現状と任意後見人契約」、「感染予防の手洗い」、「スキンケア研修」等の開催、参加
⑥ 伝達報告会
⇒上記研修を含め、「特定給食施設等栄養管理担当者講習会」、「リーダーになったら考える介護現場のモチベーションアップセミナー」、「在宅歯科診療支援歯科衛生士認定研修」、「高齢者虐待防止研修会」等々へ参加し施設内での伝達報告会を開催
⑦ 全国、全道老人福祉施設協議会主催による研究発表大会への参加
⇒不参加、「北海道歯科衛生士会学術大会」での演台発表

5．利用者の状況

平成29年3月31日 現在

（1）男女別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	9	9	9	10	9	7	9	10	7	6	7	6	98名
女	12	12	17	17	16	19	18	18	17	17	16	17	196名
計	21名	21名	26名	27名	25名	26名	27名	28名	24名	23名	23名	23名	294名

（2）介護度別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援1					1	1							2名
支援2		1	2				1			2			6名
介護1	3	6	7	12	9	11	11	11	6	6	6	8	96名
介護2	11	10	8	7	7	7	7	11	11	9	9	8	105名
介護3	4	3	5	6	7	6	6	4	4	4	5	5	59名
介護4	2	1	1	1			1	1	2	1	2	2	14名
介護5	1		3	1	1	1	1	1	1	1	1		12名
計	21名	21名	26名	27名	25名	26名	27名	28名	24名	23名	23名	23名	294名
平均介護度	2.38	1.90	2.27	1.96	1.98	1.86	1.96	1.93	2.21	2.04	2.26	2.04	2.06

（3）平均利用者数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
※延べ人数	男	94	72	69	63	91	53	53	35	26	28	32	24	640名
	女	74	55	80	98	79	114	89	90	136	133	174	151	1273名
	計	168	127	149	161	170	167	142	125	162	161	206	175	1913名
1日平均		5.6	4.1	5.0	5.2	5.5	5.6	4.6	4.2	5.2	5.2	7.1	5.6	5.24名
稼働率		80.0%	58.5%	71.0%	74.2%	78.3%	79.5%	65.4%	59.5%	74.7%	74.2%	105.1%	80.6%	75.1%

※延べ人数は特養入院者の空床利用も含んでいます。

［9］　平成２８年度　指定居宅介護支援事業所
はなみずき　事業報告書

１．運営方針（目標）

（１）要介護又は要支援状態になった方でも可能な限りご自宅で生活できるように様々な提案を行い支援する。
在宅生活に支障が出ていないか、ご本人の他に介護者の介護の状態、利用者の有する能力をアセスメントし、可能な限り在宅生活にて生活を営むことができるように支援を行っている。

（２）過剰なサービス提供とならぬよう、アセスメントにおいてその本人の有する能力を見極め、自立し、尊厳のある生活を送ることが出来るように配慮する。
利用者の意思及び人格を尊重し、利用者が抱える問題点を踏まえ、医療・介護の専門職から意見を求め、利用者個々の支援を検討し対応している。

（３）住環境や支援者の状況、生活歴などその方を全人的にとらえ、本人の希望や選択に基づき、適切なサービス及び福祉サービスを受けられるようコーディネートし、総合的且つ効果的にサービス提供が行われるよう公正中立に支援を行う。
ご本人・ご家族・専門職・ケアマネジャーが連携してケアプランの作成に向けて意見を出し合い、その方の自立した生活が行えるよう総合的、効率的に支援できるよう検討し支援を行っている。

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点

・認定調査受託
認定調査受託件数は毎月６件を受託。２８年実績→年間件数７２件の実績とした。

・地域交流（にれの木主催季節行事への参加）
にれの木の夏祭りには、当日チケット販売の手伝い（１名）と花壇整備の手伝い（２名）に参加。地域住民の方とも触れ合うことができた。

・包括主催の地域ケア会議への個別事例提供、会議への参加
地域包括ケア会議への事例の検討、事例検討会の参加、包括が開催する研修会へ参加し、包括支援センターと連携を密に図り、帯広西地区の困難ケースの受託相談を受け、西帯地区への地域貢献を行うことができた。

（２）財務の視点

・経費の見直し、更なる削減を目指す
電気、ガス、事務費の節約に前年同様に取り組み、プロパンガスについて休止を継続した。ガスについては、Ｈ２９年度も休止を継続する予定とし、毎月２１２１円（内基本料金２０７９円）の削減を図る。電気料金については、７月～９月の暑い時期のエアコンの温度調整と、１０月～１１月の秋から冬にかけて室温調整を行い、前年比より４４３９円の減少となった。

・ケアプラン作成数１００件（９６％）の達成、維持
４月から１２月までは毎月１００件以上の給付管理を行ってきたが、Ｈ２８年１１月に管理者がグループ内施設「りんどう」へ人事異動が決定したため、Ｈ２９年２月から新体制に向け急遽新人ケアマネジャーが入職した。上記により、ケアマネジメント能力による適切な持ち件数の調整を行い、一旦Ｈ２９年１月の給付管理より１０件減に踏み切った。Ｈ２８年４月～１２月の間で月１００件に対して３７件のプラスがあることから、年間を通して月１００件達成とする。

（3）利用者の視点

・状況に応じた柔軟かつ誠実で迅速な対応

居宅内でも情報の共有を密にし、状況に応じた迅速な対応を行うため緊急性の高い利用者についても医療機関、事業所からの情報提供を徹底し、適宜必要な介護サービスの提案を行う対応をしている。

・営業日及び営業時間外でも連絡可能な体制の確保

Ｈ２８年４月～Ｈ２９年１月迄は、営業日及び営業時間外でも連絡可能な体制を行ってきた。平成２９年２月から開設丸５年を迎え、経営が安定したことから同月より土日祝の電話対応の中止に踏み切った。緊急対応が必要となりそうな利用者に対して、各自ケアマネジャーが週末前に本人・ご家族に生活の状況を確認し、必要があればサービス調整を行うようにして利用者様・ご家族様にご理解を頂けるよう対応している。

・課題を明確にし、理解しやすい言葉を用いて計画書を作成

常に、御本人、御家族様を中心と考え、できる限りわかりやすい言葉を用い、介護保険制度や居宅介護計画書の説明に徹した。

・サービス事業所や行政の情報を収集し新しい情報を発信

刀圭会グループのパンフレットを活用しながら、ホームページの紹介に努めた。「野ばら」「協立病院地域包括ケア病床のご案内」、「ハートフル」をモニタリング時にお配りして病院やグループ内施設の情報の発信に努めている。

（4）業務のプロセスの視点

・各事業所間の連携・強化

サイボーズやグループセッション、スカイプ上で情報交換を行うことで、ショートステイの空床確認やデイサービス利用状況の確認、小規模多機能とも適宜情報収集できた。退院利用者の希望するサービスがグループ内施設にないか、アセスメントやケアマネジメントを行い連携を図ることでグループ内施設の新規利用者紹介に結びつけることができ、有効に活用された。

・業務の効率化

給付管理や実績確認もワイズマンの活用によりペーパーレスが行え、時間とコピー用紙の削減を図ることができた。残業時間の軽減に向けシフト管理を行い、毎朝の朝礼で業務の効率化について意見を出し合い、日々働きやすい事務所となるよう取り組んでいる。

（5）学習と成長の視点

・自己研鑽

・研修会（内部・外部）へ参加し、マネジメント力の向上を図る

帯広市委託の認定調査をアセスメント力向上のための学習の機会と捉え、意欲的に取り組んだ。勉強会や研修会への参加もできるだけ業務を調整して分担し参加した。困難事例や緊急支援の対応についても迅速・丁寧をモットーに掲げてきた。居宅はなみずきの支援業務・利用者に対する対応・マネジメントについて包括支援センターから評価頂けることもあり、地道に積み重ねてきた５年間の努力が実り始めた１年となった。

・地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けた対応の強化

地域ケア会議への個別事例の提供や包括愛仁園、包括社協、４包括主催の圏域ケア会議の出席により、各包括担当者情報提供を図った。

（6）人材と変革の視点

・法人基本理念を理解し浸透させる

法人基本理念について居宅内で毎月１日に確認している。

・職員間のコミュニケーションを図る

・刀圭会グループ（医療、社福）事業所との情報共有、協働

月１回の地域ケア会議に管理者が出席し、医療と社福間の情報共有を行い、翌日の居宅内の朝礼時に管理者から職員に重要な部分を報告し情報を共有している。

３．会議

①連絡会議（毎日、適宜）②ケース検討会議（随時）
朝礼で各ケアマネジャーが当日の予定を報告し業務にあたっている。その都度、困難と感じている案件については、不定期で話合いを行っている。

４．職員の研修

①介護保険に関する研修会
②帯広市介護支援専門員連協議会主催による研修会
③十勝連携の会主催による研修会
④社会福祉法人北海道社会福祉協議会主催の研修会
⑤他事業所主催のケース検討会
⑥地域包括支援センター主催の事例検討会、予防プラン勉強会
⑦職場内研修会（刀圭会グループ）

Ｈ２８年
４月２１日　平成２８年度第１回芽室ケアマネネットワーク会議
５月１８日　帯広市介護支援専門員協会　定期総会
（勉強会や研修会は業務多忙により見送り）
６月１６日　芽室町ケアマネネットワーク会議
６月１７日　市内４包括合同研修　ケアマネ茶話会
６月２４日　芽室町おもいやりネットワーク（ＳＯＳネット）会議
（勉強会や研修会は業務多忙により見送り）
７月　６日　　「情報共有システム入力方法勉強会」管理者出席
７月２２日　接遇外部研修　アメニティ帯広
（勉強会や研修会は業務多忙により見送り）
８月２５・２６日　介護支援専門員専門研修Ⅰ受講（堀口ＣＭ）
（勉強会や研修会は業務多忙により見送り）
９月　８日　地域包括ケアチーム会議
９月１３日　包括愛仁園　地域ケア個別会議（ケアマネジメント支援会議）
９月１４日　平成２８年度介護保険施設等及び指定障害福祉サービス事業所等に係る手段指導（幕別町百年記念ホール）
９月１５日　包括愛仁園　テーマ別研修会
１０月１３日　結核についての研修会
１０月２１日　包括合同研修会１３時～１５時　「精神科との連携について知っておきたいこと」
１０月２１日　帯広市介護給付適正化ケアプラン点検研修会１５時１５分～１６時４５分
１１月　８日　　認定調査現任研修
１２月１５日　第５回芽室町ケアマネネットワーク会議研修会「在宅医療・介護連携の推進に係る帯広市の取り組みについて」
１２月２０日　刀圭会グループ介護支援専門員質の向上研修

Ｈ２９年
１月　　※新人ケアマネジャー入職に伴う担当変更等の業務のため、参加見送り
２月１６日　ＳＯＳネットワーク会議
２月２４日　帯広市地域包括支援センター主任介護支援専門員合同企画研修会実践ＵＰ「ケアマネが知っておくべき新制度」
２月２４日　人事考課研修
３月　　※年度末業務、４月からの総合事業の開始により、参加見送り

［１０］　平成２８年度　地域密着型介護老人福祉施設ななかまど　事業報告

１．運営方針（目標）

（１）施設サービス計画に基づき、介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の援助、機能訓練、健康管理及び療養上の支援を行い、地域や家庭との結び付きを重視しつつ、利用者がその有する能力に応じ自律した日常生活を営むことができるようにすることを目指す。施設サービス計画を元に個人個人にあった機能訓練、病状に合わせて支援を行いつつ、施設内の行事（夏祭り、敬老会、花火大会、屋上バーベキュー大会）・家族、町内参加型の行事（年忘会）、家族や地域の人たちとの交流を図った。食事・排せつなどの日々の関わりの中でケアマネジャーを中心に入居者の変化などに対し他職種協働による情報交換・共有を密に行えた。刀圭会地域包括ケア会議においてご利用者の密な情報共有と個々にあったサービスの斡旋や受入を加速させて隙間の無い、介護サービスの提供につながった。口腔マネジメントなどの個別ケアの取り組みにより入居者本人の有する能力の維持に努めた。

（２）可能な限り居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮する。　協立病院より派遣頂いている理学療法士の評価、助言をもとに機能訓練指導員による専門性の高い個別リハが実現された。

（３）少人数の明るく家庭的な雰囲気を重視し、利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるよう努める。利用者様が以前に暮らしていたような生活スタイルを重視することで精神的に安定されていた。また、吹き抜け部分から１Ｆ利用者の生活風景が見えるようなたたずまいが入居者の不安を取り除く効果を一層高めている。３月よりユニット便りを家族あてに送付して日々の生活風景をご家族に周知することで入居者・家族・職員の間で互いの理解が深まり家庭的な雰囲気ながらも、互いを尊重しあえるなじみの関係ができている。日々の生活の中で少しずつそれぞれの役割が出来てきている。

（４）病院、老健、ケアハウス、地域密着型特養、各種在宅サービスを要するグループの機動力を生かした切れ目のないサービス提供が実施され、地域根ざしたグループの存在価値を一層向上させるとともに、市町村、他法人とも綿密な連携を図るよう努める。地域との結び付きを重視したことで市、各居宅事業所などの連携することで実績向上につながっていた。町内会にも施設行事への参加を呼びかけ互いに交流を深めている。各行政機関、事業所等に対しては必要に応じ報告・連絡・相談を行い、綿密な連携を図るように努めた。

（５）サービス提供にあたっては、懇切丁寧を旨とし、利用者又はその家族に対して入居生活上必要な事項について理解しやすいように説明を行うとともに、利用者の同意を得て実施するよう努める。ご利用者の主体を忘れずに家族に協力得ながら、各職種で分かりやすい言葉

で説明することで理解できた。入所時に家族との交流が図れる行事などを行うことが定期に出来ると更なる親密できると職員に話しやすくなると思われる。入居者・家族の思いや意向をふまえながら、必要に応じ各々専門職としての知識・経験をもとに理解しやすい言葉での説明、対応を基本とし入居者本位のサービス提供となるよう努めた。

2．重点実施項目

（1）地域貢献の視点

- **地域交流（温泉一般開放）**
  ：温泉の一般開放（日曜日/週）は地域の皆さんの利用（15～16 人/回）も多くみられている。
- **災害時等の緊急時における協力と連携**
  ：刀圭会グループ防災会議への地域代表者の参加

（2）財務の視点

- **目標稼働98%を達成する**
  ：事業所のみの稼働率では、平均 91%（29 床に対して）と前年度大きく下回る稼働率となった。来年度は 95%以上を維持するとともに、限りなく 100%に近付けるよう、職員への数字の周知を継続して目的意識を共有する。
  ：空床時は速やかに空所ショート利用者を確保してベッドの稼働を空けない。
- **経費削減**
  ：委託（清掃、警備）の内容を変更して 240 万/年の削減を目指す。

（3）利用者の視点

- **利用者、家族との信頼と満足度の向上**
  ：家族参加型の行事の立案、ユニット便りの送付（毎月）により施設生活の見える化を行い、家族、職員、施設の想いの以心伝心が図られた。
- **状況に応じた柔軟かつ迅速な対応**
  ：空床型ショートステイの受け入れや、緊急ショートステイの受け入れなどを積極的に対応することが出来た。
- **口腔マネジメントに基づく口腔機能の維持、向上**
  ：歯科衛生士により口腔衛生に関するアセスメントやプラン作成が行われ、家族との相互理解の元、入居者本人が経口摂取を維持できる取り組みを行うことが出来た。
  また、協立病院歯科診療部より歯科医師を派遣頂き、より専門的な見地から口腔ケアの実践を行う。
- 栄養ケアマネジメントの実施
  ：個々の栄養状態や嚥下の状態にあった食事形態の提供が行われている。同時に個々の栄養状態を定期的に他職種協働で意見交換しながらマネジメントに取り組むことで食べる楽しみを維持している。

- **機能訓練による健康維持・増進を図る**
  ：セラピストによる専門的な評価、計画をもとに個別機能訓練士による質の高い機能訓練が実施する事ができた。

（4）業務のプロセスの視点

- 各事業所間の連携・強化
  ：共通利用者の情報交換を行うことで利用者に対するケア内容の事前確認や注意事項などの周知ができ、利用者のサービス利用時の不安軽減につなげることが出来た。
- チームワークの構築
  ：フロア会議だけではなく、Aipo7 などのＩＴ活用による情報交換、意見集約などで勤務者の少なさをカバーし、フロア全体で業務に取り組むことができた。
- 業務の効率化を図る
  ：職員の気づきが増え、業務やケア内容をこまめに見直すことで無駄を省くことが出来た。
- 感染症対策の強化
  ：床のハイター消毒、靴底のハイター消毒、手洗い・消毒の通年実施、季節に応じた感染症に対する注意喚起、吐物処理方法の周知徹底などと合わせ、職員一人一人の意識の向上により今年度はインフルエンザ、ノロウイルスの入居者の罹患はなかった。

（5）学習と成長の視点

- 自己研鑽
  ：職員一人一人が１年間の目標を立てて業務・ケアに携わることで目的を持った取り組みが出来た。
- 研修会（外部、内部）への参加、フィードバック
  ：職員一人一人が施設内委員会主催研修やアメ帯主催研修、各業者による研修への参加をしており知識や技術を向上させるための努力をした。
- キャリア段位制度の導入
  ：厚労省が推奨するキャリア段位制度を導入して資格、経験、知識とそれぞれに合った評価、指導が行えた。今後は、職員の段位取得に向けて取り組みを加速していく。

（6）人材と変革の視点

- 職員の資質向上と人材の育成
  ：ユニットリーダーの資格保持者が増えたことで、ユニットケアの理解を職員一人一人に更に深めることができるようになった。
- やりがいと誇りの持てる職場つくり
  ：居室担当制により職員一人一人が責任を持って入居者のケアを考え、他職員に情報発信しチームケアの実施に取り組むことが出来た。
- 医療法人との連携強化
  ：アメ帯の研修への参加やアメ帯委員会からの情報収集・交換を行うことが出来た。

３．会議

① 職員全体会議（月１回）　② ケース検討会議（月１回）
③ 各委員会会議（月１回）　④ 運営推進会議（年６回）
⑤ 入居優先度判定会議（年６回）　⑥ 事業所会議（月１回）
：各種会議を定期的に開催し職員間の情報交換・共有を行った。

4．職員の研修

・看取りに関する技術研
・職員のメンタルヘルスに関する研修
・人材交流事業
・社福経営に関するセミナー
・虐待防止に関する研修
・褥瘡予防に関する研修会
・口腔ケアに関する研修会
・キャリア段位制度の導入
・感染予防研修
・他施設見学研修
・認定調査員現認研修
・ケアマネ実務者研修
・誤薬防止に関する研修
・リスクマネジメントに関する研修

5．入居者の状況

平成29年3月31日 現在

（1）人数・年齢

性　別	人　数	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	7	99歳	70歳	89.8歳
女	21	100歳	68歳	86.8歳
合　計	28名			88.3歳

（2）年齢層別人数

年齢／性別	男	女	計	構成比率
60～64	0	0	0名	0.0 %
65～69	0	1	1名	3.6 %
70～74	1	1	2名	7.1 %
75～79	0	1	1名	3.6 %
80～84	1	4	5名	17.9 %
85～89	1	4	5名	17.9 %
90～	4	10	14名	50.0 %
合計	7名	21名	28名	100.0 %

（3）入居期間人数

期間／性別	男	女	計	構成比率
6ヶ月未満	2	2	4名	14.3 %
6～1年未満	0	2	2名	7.1 %
1～2年未満	1	3	4名	14.3 %
2年以上～	4	14	18名	64.3 %
合計	7名	21名	28名	100.0 %
平均入居期間	12.7ヶ月	11.2ヶ月		

（4）介護度別人数

要介護度/性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
男	0	1	1	2	3	7名
女	0	2	7	6	6	21名
合　計	0名	3名	8名	8名	9名	28名
構成比率	0.00%	10.71%	28.57%	28.57%	32.14%	平均介護度 3.82

（5）入居・退居の状況

①年度内入居者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男							1		1				2名
女				1		1		1	1	1			5名
計	0名	0名	0名	1名	0名	1名	1名	1名	2名	1名	0名	0名	7名

※入居者の内訳

・自宅　2名　・介護老人保健施設　2名

②年度内退居者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男						1							1名
女			1		1			2	2			1	7名
計	0名	0名	1名	0名	1名	1名	0名	2名	2名	0名	0名	1名	8名

※退居者の内訳

・死亡　名　・医療機関　4名

（6）待機者の状況（H29.3.31現在）

○性別　介護度別

要介護度/性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
男	0	7	8	20	9	44名
女	5	16	23	19	10	73名
合計	5名	23名	31名	39名	19名	117名

○平均介護度

男性	女性	平均
3.70	3.18	3.44

○地域別

西帯広・開西	広陽・若葉	西	川北	東	川西・大正	鉄南	南	合計
5	8	22	37	15	0	5	25	117名

○待機場所別

在宅	病院	老健	グループホーム	他施設	合計
50	24	29	7	7	117名

［１１］ 平成２８年度　小規模多機能型居宅介護　ななかまど　事業報告

１．運営方針（目標）

（１）通いを中心として、要介護者の機能や希望に応じて、随時訪問や宿泊を組み合わせ、サービスを提供することにより、利用者の居宅における生活の継続を支援するよう努める。

新規利用者については、黒澤病院、厚生病院の退院患者をスムーズに受け入れる事で居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連携・協力により当事業所の利用者として受け入れた。新規ご家族・本人様の希望を多く取り入れることで通い、泊まり訪問を柔軟に組み入れ、当事業所との信頼関係を構築し高い評価をいただけたのではと考える。次年度に向けさらに小規模多機能をアピールしていきたい。

（２）帯広市、地域包括支援センター、帯広市の保健・医療・福祉サービスの提供主体との、密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

地域包括支援センターからの相談・依頼については、早急に対応しサービス担当者会議等で希望のケース利用者への利用に素早い連携でサービス提供に結びつけたと考える。今後においても積極的に帯広市、地域包括に働きかけていく。

２．重点実施項目

（１）地域貢献の視点

- **地域交流（町内会行事への参加、温泉一般開放等）**
- **災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）**
  - 地域交流については町内清掃、温泉の一般開放に協力し事故なく達成できた。
  - 災害はなかったため実施することはなかった。

（２）財務の視点

- **目標稼働９５％を達成する**
  - 年度当初の低迷から目標達成率は８４％代と大幅な計画との相違が生じた。しかし、老健の在宅復帰者の受入等で介護度の重い方のご利用で平均介護度が全国平均を大きく上回る３.０台で推移。結果、収入面では予算額を達成することができた。今後は、りんどうの看護多機能とも連携を図り、多機能内でのすみ分けを行い、ご利用者の心身状況にあったサービスの提供を実践する。
  - 併設ショートステイの利用から多機能への移行を促進する。
- **経費削減**
  - レク物品等は利用者と手作りを行い経費削減に繋がった。
  - 施設全体での清掃委託費の見直しを行った。

（３）利用者の視点

- 利用者、家族との信頼と満足度の向上
- その人の生活状況に応じた柔軟なサービス提供かつ迅速な対応
- 在宅生活維持に向けた家族支援（レスパイト等）
- 第三者による評価をもとに運営推進委員、ご家族より助言、アドバイスを頂き、事業所の質を向上させることができた。

（4）業務のプロセスの視点

- 各事業所間の連携・強化
- チームワークの構築
- 業務の効率化を図る
- 感染症対策の強化
  - 併設する特養待機者、ショート利用者の利用受入など事業所連携が成された。
  - 老健在宅復帰対象者の受入や老健への入所がシステマティックに行えた。
  - ワイズマンでの記録を取り入れることで業務の効率化も図れた。
  - 感染委員会の勉強会に出席することで基本的な知識を習得し感染を防ぐ意識が高まり、インフルエンザ・ノロウイルス等の蔓延には繋がらなかった。今後も利用者・職員の安全を第一に考え行動したい。

（5）学習と成長の視点

- 自己研鑽
- 研修会（外部、内部）への参加、フィードバック
  - 他施設での実習など外部を意識した研修やキャリア段位制度の導入による個別の教育が行えた。

（6）人材と変革の視点

- 職員の資質向上と人材の育成
- やりがいと誇りの持てる職場つくり
- 医療法人との連携強化
  - 上記項目でもあげたように勉強会の案内等医療法人から頂き、参加することで交流が増えた。また親睦会等でも医療法人と連携がとれた。

3．会議

① 職員全体会議（月１回）　② ケース検討会議（月１回）
③ 各委員会会議（月１回）　④ 運営推進会議（年６回）
⑤ 事業所会議（月１回）　・各種会議には積極的に参加し、情報交換ができた。

4．職員の研修

- 看取りに関する技術研修
- 地域医療構想に関する説明会
- 職員のメンタルヘルスに関する研修
- 事故防止、リスクマネジメントに関する研修
- 褥瘡予防に関する研修会
- 口腔ケアに関する研修会
- 虐待防止に関する研修
- キャリア段位制度の導入
- 感染予防研修
- 人材交流事業
- 認定調査員現認研修
- ケアマネ実務者研修
- 誤薬防止に関する研修

5. 利用者の状況

（1）利用登録・解除の状況

①登録者の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	男													0名
	女	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1			18名
要支援2	男	1	1	1	1	1	1	1	1					8名
	女	4	4	4	3	3	1	1	1	1	1	2	2	27名
要介護1	男	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16名
	女	1	2	2	2	2	3	4	4	4	3	4	4	35名
要介護2	男		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	13名
	女	6	6	6	7	5	5	5	5	4	4	3	3	59名
要介護3	男	1	1								1	1	1	5名
	女	3	4	5	7	7	7	4	4	4	4	3	3	55名
要介護4	男							1	1	1				3名
	女	3	2	1	1	1	3	4	5	5	6	6	6	43名
要介護5	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12名
	女	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13名
計	男	4	5	4	4	4	4	5	5	5	5	6	6	57名
	女	21	21	21	23	21	22	21	22	20	20	19	19	250名
計		25名	26名	25名	27名	25名	26名	26名	27名	25名	25名	25名	25名	307名

②年度内新規利用登録者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	1					1		1	1	1		6名
女	4	2	2	6	1	3	2	1		2	1		24名
計	5名	3名	2名	6名	1名	3名	3名	1名	1名	3名	2名	0名	23名

③年度内登録解除者の人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男		1						1	1			1	4名
女	3	1	5	3	2	3		2	2	2		3	26名
計	3名	2名	5名	3名	2名	3名	0名	3名	3名	2名	0名	4名	30名

※登録解除者の内訳

・介護老人保健施設　3名、医療機関　12名、有料老人ホーム/サ高住　2名、
介護老人福祉施設　2名、他事業所4名、その他7名（転居など）

（2）年齢層別人数

年齢／性別	男	女	計	構　成　比　率
60～69	0	0	0	0.0%
70～79	0	2	2	9.1%
80～89	3	8	11	50.0%
90～99	0	7	7	31.8%
100～	0	2	2	9.1%
合計	3	19	22	100.0%

（3）登録期間人数

期間／性別	男	女	計	構　成　比　率
3ヶ月未満	3	9	12	40.0%
3～6ヶ月	1	4	5	16.7%
6～1年未満	2	11	13	43.3%
1年以上	0	0	0	0.0%
合計	6	24	30	100.0%
平均利用日数	172.8日	290.4日	231.6日	

[１２]平成２８年度ショートステイななかまど　事業報告

１．運営方針（目標）

（１）要介護状態等になった利用者が可能な限りその居宅においてその有する能力に応じ自立した生活が営むことができるよう入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを努める。

：介護者の介護軽減や独居、高齢者世帯での生活に不安を抱えた方々の軽減を図り、安心して在宅が継続できるように支援を行った。また、利用中における体調不良や疾病の早期発見、生活状況を家族やケアマネなどに情報提供し、より良い在宅生活の継続に向けて支援を行った。今後は長期的に利用されている方に対して、今後の方向性についての支援が課題と考える。

（２）事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、利用者が継続的に総合的なサービスの提供に努めるものとする。

①空床状況のスムーズな情報提供による利用者の確保。

インターネットを利用した空床案内（ＨＰ上）を行い、「いつでも、誰でも、どんな時でも」ネット上でユーザーが確認できるシステムを構築。

②今後の課題

・高い稼働率を維持する為、同日の入退所を利用した予約率（現在３ヶ月前予約）120%をキープできるよう調整を行う。

・地域包括ケア会議（刀圭会グループ）でのベッドコントロールを行い、様々な相談、ケースに対して受け入れられる方法を個別に協議して、「当該地域の医療、介護、生活、福祉の要」としての役割を果たす。

・新規施設の相次いでの開設による在宅待機者の減少に対して特養待機者を中心として併設事業の利用を促す。

・市内以外の近隣町村事業所との連携を強化し、新規利用者を獲得する。

2．重点実施項目

（1）地域貢献の視点

・地域交流（施設行事への町内住民の参加、温泉一般開放等）

：夏祭り、敬老会などの施設行事を地域住民、家族参加型の行事とする。

・災害時等の緊急時における協力と連携（避難場所や炊き出しの提供等）

：グループ防災会議に町内会代表も参加して頂き、地域と当グループが一体的な防災活動を行えるよう協議する。

（2）財務の視点

・目標稼働 3.5 人/日を達成する。

：目標 3.5 人/日に対して 4.2 人/日と目標に達したが全体（4.0 人/日）に対しても 105%の稼働率でした。常に 120%の実績を目指し最低でも 100%を達成できるよう職種間の意識を統一する。

：定期利用者が月に 80%以上にすることで安定的な稼働へつなげられる。

・空床型を積極的に活用する（ベットコントロール、他事業所への情報提供、連絡調整）

：空床発生時には、同日に居宅支援事業所への空床案内を行うと同時にキャンセル待ちの利用者への利用確認を行う。

（3）利用者の視点

・利用者、家族との信頼と満足度の向上

：①現場職員が担当者会議や利用契約、訪問調査に相談員と同席することで、利用者や家族、居宅ケアマネージャーと顔の見える関係が構築できるように努めた。

②施設と在宅のキーパーソンとして利用者や家族の立場に寄り添うことを大切にし、利用者が「安心できるなじみの場所」に出来るように心掛けた。

・その人の生活状況に応じた柔軟なサービス提供かつ迅速な対応

：利用者の送迎については、家族の希望が多かった祝祭日、土曜日の送迎を実施。他事業所にはないサービスであるため、新規利用者の獲得にもつながりご家族にも喜んでいただけた。

（4）業務のプロセスの視点

・各事業所間の連携・強化

：状態変化があればすぐに報告を行うと共に、サービス担当者会議への出席を数多くし、連携を図るように努めた。

・チームワークの構築
：利用者一人ひとりの生活の流れに合った援助ができるように常に利用者の目線に立った援助に努め、職員間の連携の強化および意思統一を図りながら取り組んで行きたい。

・業務の効率化を図る
：介護ソフト（ワイズマン）やAipo7（グループウエア）を活用し、情報共有やコミュニケーションの効率化、ペーパーレスを図ることができた。

・感染症対策の強化
：ノロウィルス・疥癬・インフルエンザなど集団感染の予防をしっかり対応する事が出来た。今年度において、疑いのある方の利用はあったが、早期に対応し、集団発生には至らなかった。看護師と連携し、利用時に手洗い・うがいの実施を行い、疑わしい症状が見られた場合は迅速に隔離対応を行い、初期段階での予防を図っていくことが出来た。

（5）学習と成長の視点
・自己研鑽
：研修会（外部、内部）参加し、各自自己研さんに努めた。また、研修伝達会を開催し、研修で得た知識や技術をフィードバックする機会を設けた。
・研修会（外部、内部）への参加、フィードバック
：外部研修は、十老協主催の相談員部会に参加して他施設の同職種の方方々と意見交換が行えた。

（6）人材と変革の視点
・職員の資質向上と人材の育成
・やりがいと誇りの持てる職場つくり
・地域包括ケア会議の充実
：グループ内のあらゆる資源を最大限に活用できるよう担当者同士の情報交換や利用方法の検討を推進する。

３．会議

①　職員全体会議（月１回）　　②　各委員会会議（月１回）

４．職員の研修

介護報酬改定、総合支援事業以降に関する研修
看取りに関する技術研
職員のメンタルヘルスに関する研修
社福経営に関するセミナー
事故防止の為の研修
褥瘡予防に関する研修会
口腔ケアに関する研修会
虐待防止に関する研修
キャリア段位制度に導入
感染予防研修
他施設見学視察研修
認定調査員現認研修
ケアマネ研修
誤薬防止に関する研修
リスクマネジメントに関する研修
感染予防に関する研修会
誤薬に関する研修

5．利用者の状況

平成29年3月31日 現在

（1）男女別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	2	2	2	4	5	4	4	3	4	4	7	42名
女	14	17	17	14	18	13	8	14	12	10	10	10	157名
計	15名	19名	19名	16名	22名	18名	12名	18名	15名	14名	14名	17名	199名

（2）介護度別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3名
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3名
介護1	4	7	9	5	10	4	3	2	3	3	3	5	58名
介護2	6	6	5	5	5	6	5	8	6	4	3	2	61名
介護3	2	4	2	3	2	3	3	6	3	4	4	6	42名
介護4	2	2	2	2	4	2	1	1	3	2	2	2	25名
介護5	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	1	7名
計	15名	19名	19名	16名	22名	18名	12名	18名	15名	14名	14名	17名	199名
平均介護度	2.33	2.05	1.76	2.02	2.14	2.41	2.17	2.50	2.40	2.29	2.50	2.41	2.24

（3）平均利用者数

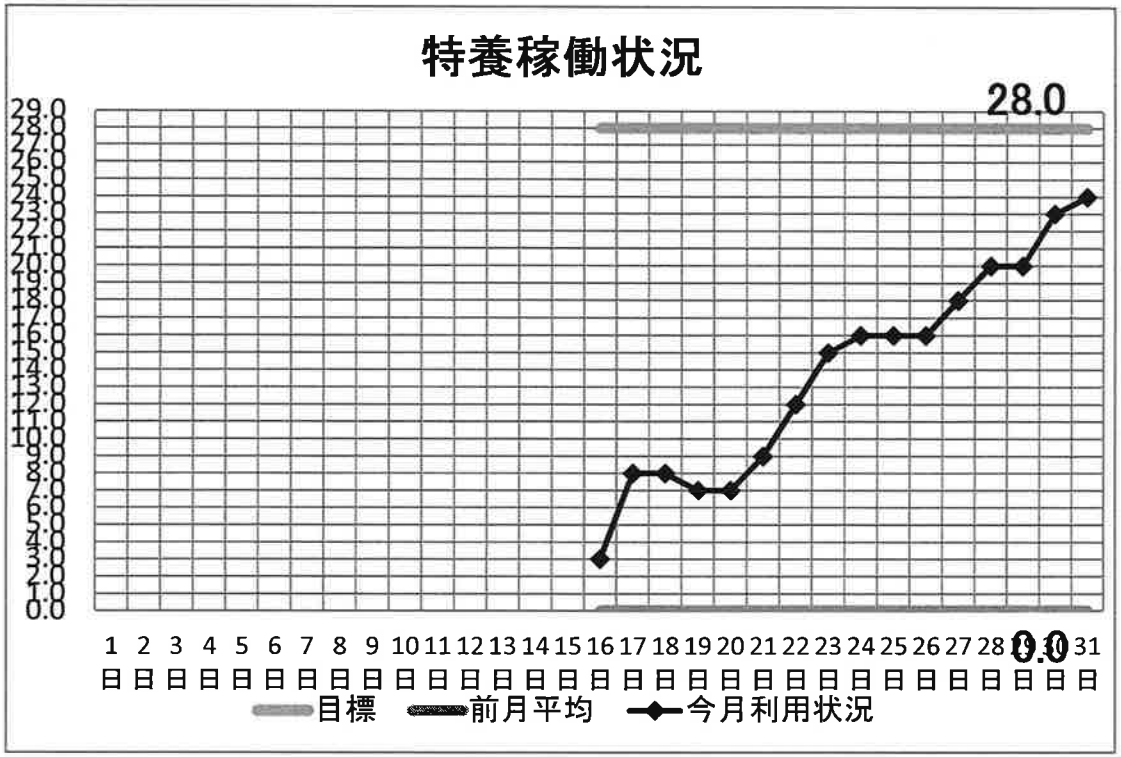
区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
※延べ人数	男	8	13	4	7	19	21	19	21	20	23	12	31	198名
	女	122	147	138	116	133	132	109	113	131	101	121	114	1477名
	計	130	160	142	123	152	153	128	134	151	124	133	145	1675名
1日平均		4.33	5.16	4.73	3.97	4.90	5.10	4.13	4.47	4.87	4.00	4.59	4.68	4.58名
稼働率		108.3%	129.0%	118.3%	99.2%	122.6%	127.5%	103.2%	111.7%	121.8%	100.0%	118.8%	116.9%	114.8%

※延べ人数は特養入院者の空床利用も含んでいます。

[13]りんどう拠点　特養 利用状況

平 成 29 年 3 月 31 日　現在

	特養入居状況 目標・率				
H28年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!	前月平均	入院者
H29年3月実績	13.9人	28.0人	49.6%		
3月1日 水					
3月2日 木					
3月3日 金					
3月4日 土					
3月5日 日					
3月6日 月					
3月7日 火					
3月8日 水					
3月9日 木					
3月10日 金					
3月11日 土					
3月12日 日					
3月13日 月					
3月14日 火					
3月15日 水					
3月16日 木	3 ／	28.0	10.7%	0.0	26
3月17日 金	8 ／	28.0	28.6%	0.0	21
3月18日 土	8 ／	28.0	28.6%	0.0	21
3月19日 日	7 ／	28.0	25.0%	0.0	22
3月20日 月	7 ／	28.0	25.0%	0.0	22
3月21日 火	9 ／	28.0	32.1%	0.0	20
3月22日 水	12 ／	28.0	42.9%	0.0	17
3月23日 木	15 ／	28.0	53.6%	0.0	14
3月24日 金	16 ／	28.0	57.1%	0.0	13
3月25日 土	16 ／	28.0	57.1%	0.0	13
3月26日 日	16 ／	28.0	57.1%	0.0	13
3月27日 月	18 ／	28.0	64.3%	0.0	11
3月28日 火	20 ／	28.0	71.4%	0.0	9
3月29日 水	20 ／	28.0	71.4%	0.0	9
3月30日 木	23 ／	28.0	82.1%	0.0	6
3月31日 金	24 ／	28.0	85.7%	0.0	5
今月の平均	**13.9人** ／	**28.0人**	**49.6%**	**0.0人**	**15.1人**



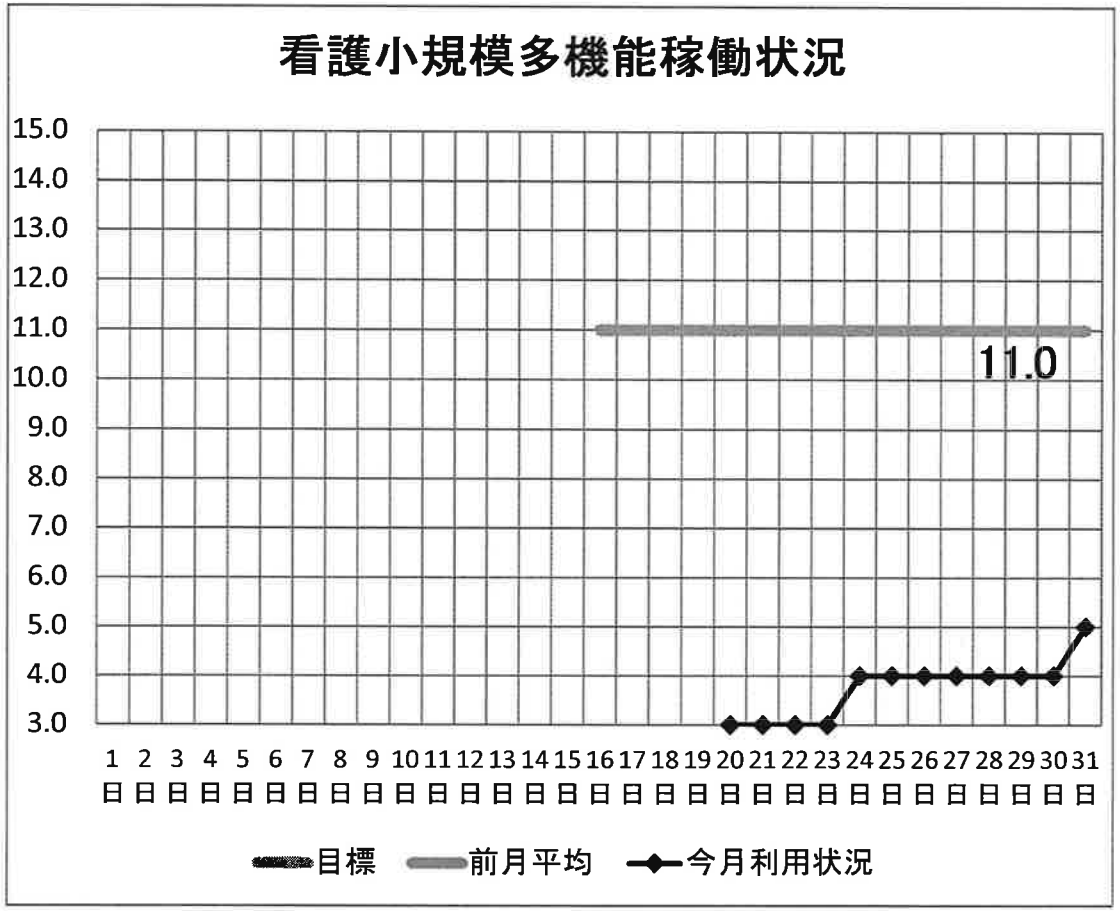
※空床型ショートステイ（入院者ベット）利用状況

今月の利用状況	男性	女性	合計
入居者	8	16	24名
退居者	1	0	1名
入院者	0	0	0名
待機者状況	男性	女性	合計
要介護 1	0	0	0 名
要介護 2	0	0	0 名
要介護 3	4	4	8 名
要介護 4	2	9	11 名
要介護 5	2	3	5 名
合計	8 名	16 名	24 名

[14]りんどう拠点　看護小規模多機能　利用状況

平 成 29 年 3 月 31 日　現在

	小規模多機能利用状況 目標・率				
H28年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!	前月平均	空数
H29年3月実績	0.0人	11.0人	0.0%		
3月1日 水					
3月2日 木					
3月3日 金					
3月4日 土					
3月5日 日					
3月6日 月					
3月7日 火					
3月8日 水					
3月9日 木					
3月10日 金					
3月11日 土					
3月12日 日					
3月13日 月					
3月14日 火					
3月15日 水					
3月16日 木	1 ／	11.0	9.1%	0.0	28
3月17日 金	2 ／	11.0	18.2%	0.0	27
3月18日 土	2 ／	11.0	18.2%	0.0	27
3月19日 日	2 ／	11.0	18.2%	0.0	27
3月20日 月	3 ／	11.0	27.3%	0.0	26
3月21日 火	3 ／	11.0	27.3%	0.0	26
3月22日 水	3 ／	11.0	27.3%	0.0	26
3月23日 木	3 ／	11.0	27.3%	0.0	26
3月24日 金	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月25日 土	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月26日 日	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月27日 月	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月28日 火	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月29日 水	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月30日 木	4 ／	11.0	36.4%	0.0	25
3月31日 金	5 ／	11.0	45.5%	0.0	24
今月の平均	**3.3人** ／	**11.0人**	**29.5%**	**0.0人**	**25.8人**



今月の新規登録者、登録終了者

	登録者	終了者
要支援1		
要支援2		
要介護1		
要介護2	1	
要介護3	2	
要介護4	1	
要介護5	1	
合計	5名	0名

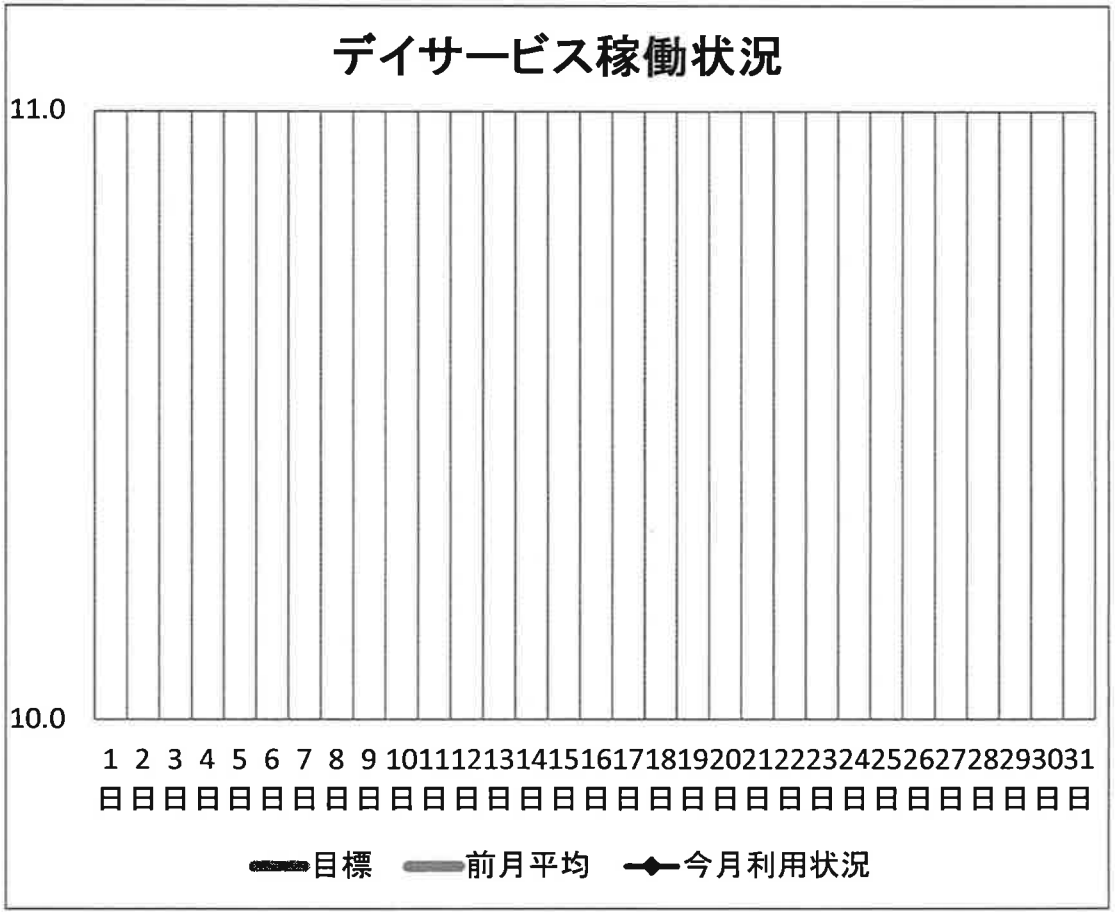
利用者内訳

要支援	1	
要支援	2	
要介護	1	
要介護	2	1
要介護	3	2
要介護	4	1
要介護	5	1
合計		5名

[15]りんどう拠点　デイサービス　利用状況

平 成 29 年 3 月 31 日　現在

	デイサービス利用状況				
	目標・率				
H28年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!	前月平均	空数
H29年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!		
3 月 1 日　水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 2 日　木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 3 日　金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 4 日　土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 5 日　日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 6 日　月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 7 日　火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 8 日　水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 9 日　木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 10 日　金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 11 日　土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 12 日　日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 13 日　月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 14 日　火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 15 日　水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 16 日　木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 17 日　金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 18 日　土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 19 日　日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 20 日　月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 21 日　火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 22 日　水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 23 日　木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 24 日　金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 25 日　土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 26 日　日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 27 日　月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 28 日　火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 29 日　水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 30 日　木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3 月 31 日　金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
今月の平均	#DIV/0! ／	16.5人	#DIV/0!	0.0人	#DIV/0!



今月の新規登録者、登録終了者

	登録者	終了者
要支援1		
要支援2		
要介護1		
要介護2		
要介護3		
要介護4		
要介護5		
区分変更中		
合計	0名	0名

3月31日現在

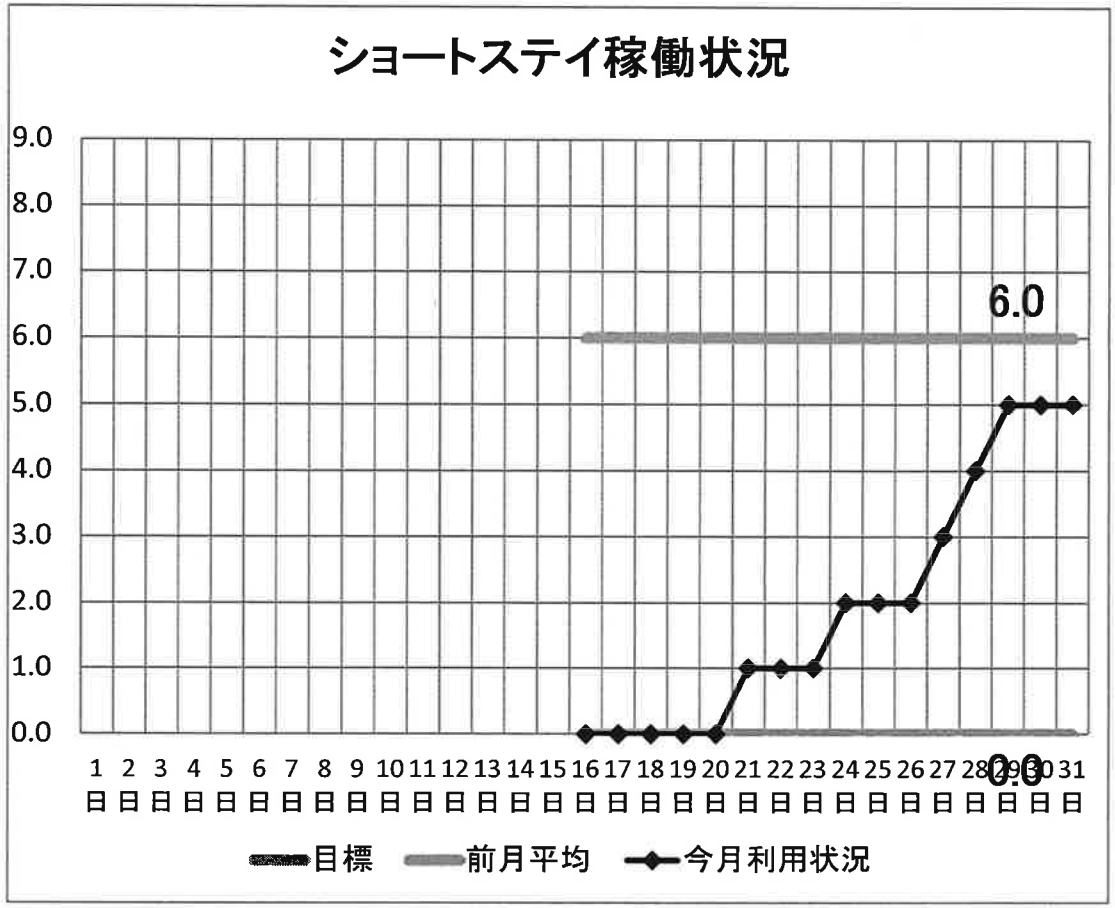
デイサービス空き情報

	月	火	水	木	金	土
空数	18	18	18	18	18	18
定員	18	18	18	18	18	18
登録数						

[16]りんどう拠点　ショートステイ　利用状況

平 成 29 年 3 月 31 日　現在

	ショートステイ利用状況 目標・率				
H28年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!	前月平均	※空室
H29年3月実績	1.9人	6.0人	32.3%		
3月1日　水					
3月2日　木					
3月3日　金					
3月4日　土					
3月5日　日					
3月6日　月					
3月7日　火					
3月8日　水					
3月9日　木					
3月10日　金					
3月11日　土					
3月12日　日					
3月13日　月					
3月14日　火					
3月15日　水					
3月16日　木	0	／ 6.0	0.0%	0.0	33
3月17日　金	0	／ 6.0	0.0%	0.0	28
3月18日　土	0	／ 6.0	0.0%	0.0	28
3月19日　日	0	／ 6.0	0.0%	0.0	29
3月20日　月	0	／ 6.0	0.0%	0.0	29
3月21日　火	1	／ 6.0	16.7%	0.0	26
3月22日　水	1	／ 6.0	16.7%	0.0	23
3月23日　木	1	／ 6.0	16.7%	0.0	20
3月24日　金	2	／ 6.0	33.3%	0.0	18
3月25日　土	2	／ 6.0	33.3%	0.0	18
3月26日　日	2	／ 6.0	33.3%	0.0	18
3月27日　月	3	／ 6.0	50.0%	0.0	15
3月28日　火	4	／ 6.0	66.7%	0.0	12
3月29日　水	5	／ 6.0	83.3%	0.0	11
3月30日　木	5	／ 6.0	83.3%	0.0	8
3月31日　金	5	／ 6.0	83.3%	0.0	7
今月の平均	**1.9人**	**／ 6.0人**	**32.3%**	**0.0人**	**20.2人**



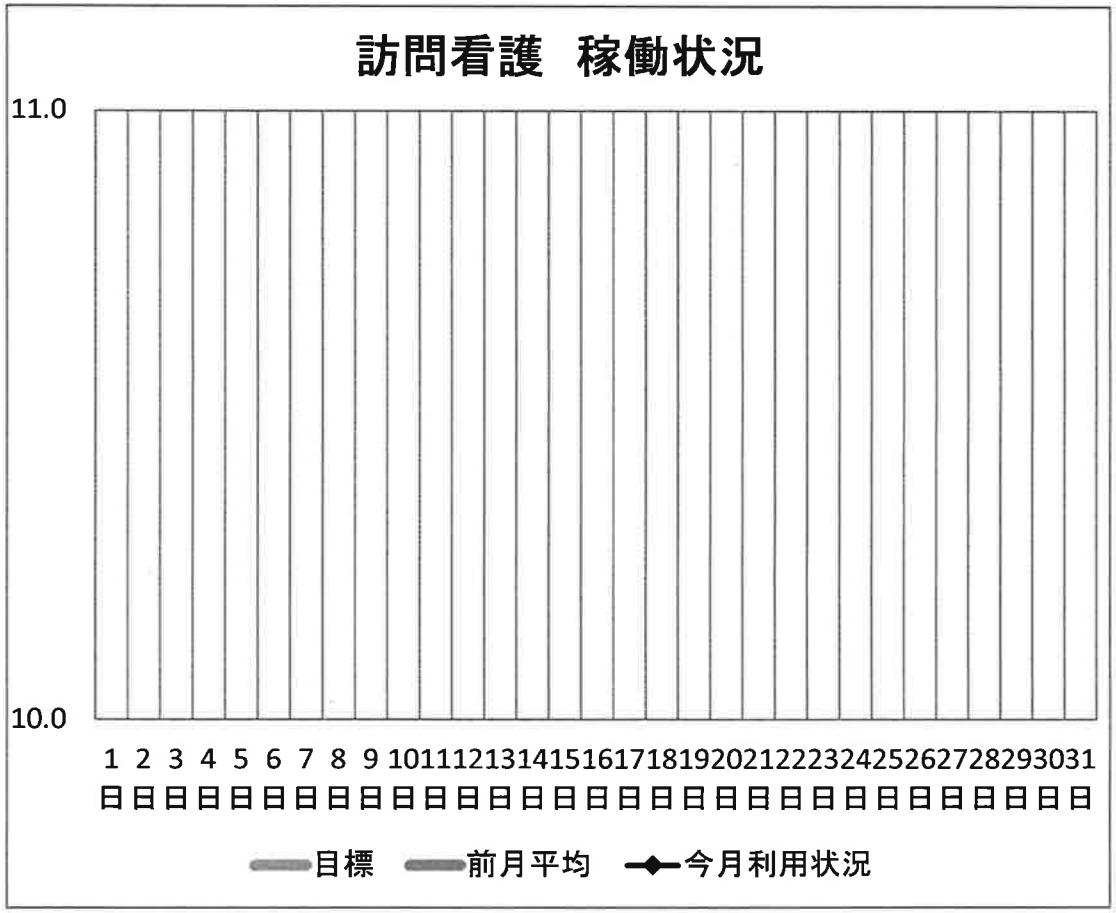
※空室には特養入院者のベットも含めています。

今月の新規利用者、利用終了	男性	女性	合計
新規利用者	2	3	5名
利用終了者			0名

[17]りんどう拠点　訪問看護　利用状況

平 成 29 年 3 月 31 日　現在

	デイサービス利用状況				
	目標・率				
H28年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!	前月平均	空数
H29年3月実績	0.0人	0.0人	#DIV/0!		
3月1日 水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月2日 木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月3日 金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月4日 土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月5日 日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月6日 月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月7日 火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月8日 水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月9日 木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月10日 金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月11日 土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月12日 日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月13日 月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月14日 火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月15日 水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月16日 木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月17日 金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月18日 土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月19日 日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月20日 月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月21日 火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月22日 水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月23日 木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月24日 金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月25日 土	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月26日 日	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月27日 月	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月28日 火	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月29日 水	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月30日 木	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
3月31日 金	／	0.0	#DIV/0!	0.0	
今月の平均	#DIV/0! ／	6.0人	#DIV/0!	0.0人	#DIV/0!



今月の新規登録者、登録終了者

	登録者	終了者
要支援1		
要支援2		
要介護1		
要介護2		
要介護3		
要介護4		
要介護5		
区分変更中		
合計	0名	0名

3月31日現在

訪問看護 空き情報

	月	火	水	木	金	土
空数	6	6	6	6	6	0
定員	6	6	6	6	6	0
登録数						